

学校教育

北広島市民憲章
北広島市総合計画
北広島市教育基本計画
北広島市教育推進計画

北広島市教育の基本理念

三人の先達(クラーク、和田郁次郎、中山久蔵)の「志」を礎として、豊かな心とすぐれた知性とたくましい身体をもって、自己実現に努め、自然と創造の調和した活力のある郷土・社会の進展に貢献する人材を育成する。

北海道教育推進計画
石狩管内教育推進計画

めざす
子ども像

心豊かに 大志をいただき たくましく 生きる子ども

優しい心をもって 感性を磨く子ども

< 優しく >

生命・人間尊重の精神を養い、共に
生きようとする心を育てる教育の推進

高い志をもち 未来をひらく子ども

< 賢く >

確かな学力を身に付け、自らの生き方を
創る力を育む教育の推進

健やかな体で たくましく生きる子ども

< たくましく >

健康と安全について考え、自ら行動する
実践的な態度を育む教育の推進

北広島のよさを大切にし、学ぶ力や豊かな心の育成をめざして

学校教育政策

「生きる力」を育む学校教育の推進

信頼され、魅力ある学校づくりの推進

具体的な
実践目標

それぞれの「まち」の「よさ」を生かす「地域とともにある学校づくり」

義務教育9年間で修了するに相応しい

「学力」・「主体的な学びの意欲」・「社会性」の育成

— 子どもの連続した学びと 自己有用感^{*}の向上、そして大いなる志 —

実践目標達成
の手立て

未来の社会人を育てるキャリア教育の推進

北広島市内の全ての小・
中学校で実践する内容

「きたひろ夢ノート」実践

【教育内容として】

- ① 「環境・福祉・人権・平和教育」実践
- ② 心が動く感動体験、地域と動く社会体験
- ③ 自立と共生の「シティズンシップ」^{*}
- ④ 人間としての生き方についての自覚を深める道徳教育の実践

【教育を支える手法として】

- ① 各種調査の分析に基づく素早いRPDCAサイクル
- ② 中学校区での幼・保・小・中の教育連携強化

昨年度までの北広島市内各中学校区の実践を「礎」にしながら

今年度の重点

中学校区単位での「めざす子ども像」を明確にした キャリア教育を支える「北広島スタンダード(基準)の確立」

自己有用感^{*}

感対生り
情すまを他
るれる前者
肯る提との
定の自にの
的分し関
的なてわ

1. 「きたひろ夢ノート」の実践

- ① 中学校区単位の「キャリア教育」教育課程を中核とした「きたひろ夢ノート」実践
- ② 夢や大志の具現化に向けた教育相談の充実(カウンセリング、コーチング等)

2. 年度内に次の「Action」を実践するスピーディーな「RPDCAサイクル」実践(「Research」重視)

- ① 教職員の協働による学校経営プログラムによるカリキュラム・マネジメント(進行管理)
- ② 学校評価等、各種評価の充実と不断の学校改善プランの加除修正
- ③ 「授業アンケート」を通じた日常実践の「R」と授業の改善・更新(不断の授業力更新)
- ④ 子ども一人一人の「困り感」解消を図る教育的支援(個別の教育支援、指導計画作成等)
- ⑤ マネジメントの発信・受信(各種たより、ホームページ、説明会等)の充実した実践

3. 子どもの「学び」や「育ち」の連続性、系統性、発展性を保障する小中連携教育実践

- ① 課題提示と終末の振り返りが明確な授業実践
- ② 構造化された板書と子どもへのノート指導実践(ICT教育環境の有効活用も含め)
- ③ 「言語活動の充実」を図り、言葉の力を育てる指導実践(読書、新聞、言語環境改善)
- ④ 学年段階にふさわしい家庭学習習慣を醸成する授業展開(広義の宿題提示)
- ⑤ 小中一貫した学習生活習慣の醸成(校区毎の「〇〇スタンダード」[学力・体力向上運動])
- ⑥ 異校種間の合同研修、情報交流の場の設定(小1プロブレム、中1ギャップの克服等)
- ⑦ 自己有用感を醸成する「お手伝い」「ボランティア活動」「異年齢間の活動」「職業体験学習」の推進

シティズンシップ^{*}

訳動動て地
され力するい域
る。るすこや
。「資こうと社
市民質やと主
性」能体的に
とも力、行

北広島市立小・中学校一覽

(平成27年5月1日現在)

学校名	所在地	電話	校長名	学級数						児童生徒数	教職員数
				うち特別支援学級数							
				知的	情緒	肢体	虚弱	難聴			
東部小学校	中央4丁目4	372-3511	小島 雅人	15	2	1				374	26
西部小学校	輪厚508番地3	376-2104	名越 修彦	13		1				370	19
大曲小学校	大曲柏葉2丁目14-6	376-2253	横藤 雅人	15	1	1				448	25
西の里小学校	西の里401	375-2520	駒場 義剛	18	1	1	1			470	28
西の里小学校 陽香分校	西の里1015	375-3673	〃	2	1					2	6
北の台小学校	共栄町4丁目6-1	373-3500	田井 博昭	18	1	1	1			450	29
大曲東小学校	大曲光2丁目8	377-7000	高秀 愛司	19	1	1	1			525	32
双葉小学校	若葉町3丁目12	373-5665	若山 真	15	1	1	1			358	24
緑ヶ丘小学校	高台町2丁目1	373-3330	東口 明雄	10	1	1				201	20
小 計				125	9	8	4	0		3,198	209
東部中学校	美咲野1丁目12-1	372-3030	高野 和男	15	1	1	1			405	31
西部中学校	輪厚中央1丁目12	376-2252	新田 元紀	10	1	1	1	1		189	21
大曲中学校	大曲中央2丁目4-1	376-2354	田中 真路	20	1	1				585	40
西の里中学校	西の里790	375-2843	高橋 たい子	10	1	1				248	24
西の里中学校 陽香分校	西の里1015	375-3673	〃	4	1	1				14	10
広葉中学校	広葉町5丁目1	373-4918	三浦 利章	8	1	1				186	19
緑陽中学校	緑陽町3丁目4	372-2239	竹内 剛	8	1	1				150	16
小 計				75	7	7	2	1	0	1,777	161
合 計				200	16	15	6	1	0	4,975	370

注1. 学校基本調査による

通 学 区 域

(平成27年4月1日現在)

学 校 名	通 学 区 域	学 校 名	通 学 区 域
東部小学校	東の里・中の沢・南の里・富ヶ岡・稲穂町・新富町・朝日町・美沢・中央	東部中学校	東部小学校及び北の台小学校の通学区域
北の台小学校	共栄・北の里・共栄町・東共栄・美咲野		
西部小学校	島松・輪厚・希望ヶ丘・三島・輪厚中央・輪厚元町・輪厚工業団地	西部中学校	西部小学校の通学区域
大曲小学校	大曲(大曲東小学校の通学区域を除く)・大曲柏葉・大曲南ヶ丘・大曲中央・大曲工業団地・大曲末広(5丁目、6丁目及び7丁目)・大曲幸町・仁別	大曲中学校	大曲小学校及び大曲東小学校の通学区域
大曲東小学校	大曲(大曲790番地32を起点として札幌市界の東側かつ大曲876番地を起点として中の沢川の北側)・大曲末広(1丁目から4丁目まで)・西の里(国有林)・大曲光・大曲緑ヶ丘・大曲並木		
西の里小学校	西の里(大曲東小学校の通学区域及び西の里1015番地のうち、北海道立児童福祉施設条例(昭和36年北海道条例第37号)第1条に規定する北海道立向陽学院の入所者の寮(以下「寮」という。)の部分を除く。)西の里東・西の里北・西の里南・虹ヶ丘	西の里中学校	西の里小学校の通学区域
双葉小学校	広葉町・栄町・輝美町・北進町 若葉町・青葉町・白樺町・南町	広葉中学校	双葉小学校の通学区域
緑ヶ丘小学校	高台町・泉町・里見町 松葉町・緑陽町・山手町	緑陽中学校	緑ヶ丘小学校の通学区域
西の里小学校 陽香分校	西の里1015番地 (寮の部分に限る。)	西の里中学校 陽香分校	西の里小学校陽香分校の通学区域

各 学 校 の 概 要

(小学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名	 <h2 style="text-align: center;">北広島市立東部小学校</h2>																
所在地	北広島市中央4丁目4番地	校章の由来	北国の風雪に耐え開拓した祖先をしのびながら、自らも心身共に健全な成長を願い北海道を表徴する雪の結晶を用いた。六頂は「東」を雪の模様にも図案化し、世間に発展する人間の育成を希求した。中心に「広東小」の文字を配し、六つの三角形は六学年の児童が手を結び、強く・たくましく・仲良く助け合って未来に向かって伸びることを願ったもの。														
電話	372-3511																
開校年月日	明治25年10月10日																
校長名	小 島 雅 人																
教頭名	渡 辺 弘 行	研究主題	「進んで考え、共に学び合う子どもの育成」 ～ 学びの実感をもてる授業を目指して～														
職員数	<table border="0"> <tr><td>教 諭</td><td>23名</td></tr> <tr><td>栄養教諭</td><td>1名</td></tr> <tr><td>養護教諭</td><td>1名</td></tr> <tr><td>事務職員</td><td>1名</td></tr> <tr><td>特別支援員</td><td>2名</td></tr> <tr><td>介助員</td><td>1名</td></tr> <tr><td>業務主事・事務補助員</td><td>2名</td></tr> <tr><td>心の教室相談員</td><td>1名</td></tr> </table>			教 諭	23名	栄養教諭	1名	養護教諭	1名	事務職員	1名	特別支援員	2名	介助員	1名	業務主事・事務補助員	2名
教 諭	23名																
栄養教諭	1名																
養護教諭	1名																
事務職員	1名																
特別支援員	2名																
介助員	1名																
業務主事・事務補助員	2名																
心の教室相談員	1名																
学級数	普通 12学級 特別支援(知的2・情緒1) 3学級	特色ある教育活動	1 豊かな情操と言葉を育てる全校一斉読書タイム 朝の10分間読書や、図書ボランティアによる読み聞かせなど、情操と言葉を育てる一斉読書の取り組み。 2 輪厚川周辺の環境学習の取り組み 輪厚川やレクの森周辺の水棲生物を調べたり、水質の定点観測、ゴミ拾いなど、環境学習の取り組み。 3 地域本部事業と連携した、福祉教育の実践 点訳サークル、手話の会等を招いて交流や体験を通じた福祉学習の取り組み。 4 人権・平和教育の推進 人権教室や平和集会、異学年集会を含めた全校道徳等の心の教育の推進。														
児童数	376名																
学校の教育目標	<p>私たちは 仲よく 強く 明るくのびる 東小のよい子です</p> <p>(1) みんな仲よく助け合う子どもになります (2) どんなことでもよく考えてする子どもになります (3) 自分から進んで仕事をする子どもになります (4) 元気で健康な明るい子どもになります</p>																
平成27年度 学校経営の基本方針	<p>新たな伝統を築き、互いを尊重し、共に支え合う子どもの育成を目指して ～「つながり」と「くりかえし」を大切にしたい指導～</p> <p>1 基本方針 (1) 認め合い支え合う心を育てる教育の推進 (2) 自ら意欲を持ち、確かな学力を身につける教育の推進 (3) 健やかな体で、たくましく生きる態度を養う教育の推進 (4) 保護者・地域とのつながりを大切にしたい、信頼される学校づくりの推進 (5) さらなる学校改善と、教職員の資質・能力向上の推進</p> <p>2 教育活動の重点 (1) 思いやりの心や自律心、豊かな社会性の育成 (2) 基礎的・基本的内容の確実な習得と学習意欲の向上 (3) 健康と安全について考え、行動できる態度と能力の育成 (4) 保護者や地域の期待に応える学校づくりの推進 (5) 教育活動の改善と教職員の指導力の向上</p>	沿革史	明治25年 簡易教育所として開校 明治28年 広島尋常小学校と改称 明治33年 広島尋常高等小学校と改称 昭和9年 5月23日、この日を開校記念日と制定 昭和16年 広島東部国民学校と改称 昭和22年 広島村立東部小学校と改称 昭和26年 開校60周年記念式典 校歌制定 昭和44年 新校舎落成 昭和47年 新設広葉小学校に児童分離 昭和54年 校舎第4期工事完了 落成式典挙行 昭和57年 開校90周年記念式典 平成2年 新設北の台小学校に分離 平成4年 開校100周年記念式典 平成13年 コンピュータ室設置 平成14年 開校110周年記念式典 平成16年 子どもと親の心の相談員配置 平成18年 特別支援学級の開設 平成20年 図書室整備(新刊図書2600冊) パソコン室整備(児童用PC入替) 平成21年 校舎大規模耐震・改修工事 全教室E黒板導入 平成22年 児童用の机・椅子を新規格に更新 平成23年 職員室用コンピュータ更新 平成24年 開校120周年記念各種行事開催 体育館耐震改修工事 平成25年 小学校理科専科配置 日本ハムファイターズ親善大使来校 平成26年 パソコン室整備(児童用PC入替)														

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(小学校)

(平成27年5月1日現在)


学校名	 北広島市立西部小学校				
所在地	北広島市輪厚508番地3	校章の由来	校章は、雪の結晶に「西」の文字を形どっており、中央には「小」の文字入れ、西部小学校が四方八方に発展することを表したものである。		
電話	376-2104				
開校年月日	昭和9年9月1日				
校長名	名越修彦	研究主題	自分の思いや考えを、生き生きとわかりやすく伝え合う子どもの育成～		
教頭名	山谷潤				
職員数	教諭 21名 養護教諭 1名 事務職員 1名 業務主事・事務補助員 2名	特色ある教育活動	<p>自然に親しみ、はたらきかける子【環境教育】</p> <ol style="list-style-type: none"> ほれとれ畑(学校園) 花いっぱい運動(学校花壇) 川での体験学習 赤毛米栽培～食事体験 ボランティア活動...地域ごみ拾い・牛乳パック回収 <p>人と関わり、ともに社会に生きる子【福祉教育】</p> <ol style="list-style-type: none"> 昔遊びの交流(お年寄り招待) 地域の方との交流(高齢者慰安会・文化祭、輪厚PAなど) 障がいのある方との交流(視覚障がい・白樺高等養護) <p>思いやりをもち、自他を大切に子【人権教育】</p> <ol style="list-style-type: none"> ともだちいっぱい集会(児童会) 人権教室(札幌法務局) いじめさよなら運動(児童会) アイヌ文化の学習 <p>平和を考え、命と平和を愛する子【平和教育】</p> <ol style="list-style-type: none"> 平和集会(子ども大使歓迎集会) 読書ボランティアの方による読み聞かせ(平和関連図書) <p>他者との関わりを通して自分の良さ気づき、自信を持って努力し続ける子【キャリア教育】</p> <ol style="list-style-type: none"> 昔遊びをしよう(1年生:地域との交流) 高齢者慰安会、まちの人と仲良く、西部っ子まつり(2年生:地域・1年生・保育園との交流) 輪厚PAに行こう、お店の仕事(3年生:地域との交流) 北広島のあゆみ、赤毛米栽培、水博士になろう(4年生:地域の歴史・伝統文化・自然) 西地区文化祭、白樺高等養護学校訪問、高齢者施設訪問(5年生:地域との交流、福祉) 箏・尺八・茶道、自分史づくり(6年生:伝統文化、人生観) 「きたひろ夢ノート」の活用(4年生以上:適宜) 		
学級数 児童数	普通 12学級 特別支援 1学級 370名				
学校の教育目標	えがおいっぱい ともだちいっぱい よく考え 進んで学ぶ子 【知】 心豊かで やさしい子 【情】 ねばり強く やりぬく子 【意】 健康で たくましい子 【体】				
学校経営の基本方針	<p>学校経営方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにとって魅力のある学校の実現 学び合う教師集団の実現 開かれた学校づくりの実現～コミュニティスクール <p>平成27年度の重点</p> <p><優しい心を持ち、自律的に行動する子どもを育てる></p> <p>優しい心・思いやりの心、感謝する心</p> <ul style="list-style-type: none"> 規範意識や公正な判断力 自律的に行動する能力 大局的に行動する能力 人生設計や個人の計画を作り実行する能力 権利、利害、責任、限界、ニーズを表明する能力 <p>学校課題(年度の重点教育目標)</p> <p>教育目標の具現化、実践化を図るため、学校評価・児童の実態から、当面解決しなければならない学校課題(年度の重点指導目標)を上記のように設定した。今後も学年・学級目標と有機的に関連し、教育課程の編成、指導計画に反映され、児童の努力目標に生かされるものであるか絶えず吟味する必要がある。</p> <p>立腰教育の推進 重点指導期間の設定</p> <p>確かな学力の定着 健やかな体づくり 豊かな心の育成 特別支援教育の充実 教育環境の整備 教職員の資質向上 学年・学級経営の充実 家庭・地域との連携 学校組織マネジメントによるRPDCAサイクルの構築</p>				
平成27年度				沿革史	<p>明治32年 輪厚簡易教育所設置認可</p> <p>明治38年 輪厚尋常小学校に改称</p> <p>昭和9年 9月1日西部尋常高等小学校と改称 この日を開校記念日とする</p> <p>昭和16年 広島西部国民学校と改称</p> <p>昭和22年 広島村立西部小学校と改称</p> <p>昭和28年 校章制定</p> <p>昭和32年 校歌制定</p> <p>昭和41年 防音校舎落成</p> <p>昭和48年 防音講堂落成</p> <p>昭和59年 北海道体力づくり最優秀校受賞 開校50周年記念式典</p> <p>昭和60年 全国保健体育優良校受賞</p> <p>平成2年 全国保健体育優良校受賞</p> <p>平成6年 文部省体力づくり研究推進校に指定</p> <p>平成8年 文部省体力づくり研究発表会</p> <p>平成11年 プレハブ校舎工事完成</p> <p>平成18年 新校舎移転落成</p> <p>平成20年 特別支援学級開設</p> <p>平成21年 校内教室ICT機器設置</p> <p>平成22年 石狩管内教育実践奨励賞受賞</p> <p>平成23年 西部小プール落成</p> <p>平成24年 特別支援学級(病弱)開設 コミュニティ・スクール推進委員会設立</p> <p>平成25年 開校50周年時埋没タイムカプセル開函式</p> <p>平成26年 開校80周年記念集会、演劇鑑賞会 開校50周年記念モニュメント移設</p>

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(小学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名		北広島市立大曲小学校	
所在地	北広島市大曲柏葉2丁目14番地6		校章の由来
電話	376 2253		
開校年月日	明治25年 6月28日		
校長名	横 藤 雅 人		
教頭名	青 山 司		研究主題
職員数	教 諭 22名 養護教諭 1名 事務職員 2名 特別支援教育補助員 2名 特別支援学級介助員 1名 業務主事・事務補助員 2名 心の教室相談員 1名		
学級数	普通学級 13学級		特色ある教育活動
児童数	特別支援学級 2学級 449名		
学校の教育目標	おもいやり おちつき まっすぐ がんばる子 ほこりをもってみんなで進む		
平成27年度 学校経営の基本方針	学校経営の重点 (1) 自尊感情を育む ・落ち着いた学級生活の実現 ・自ら良くなる心と力をもつ存在として子供を認める。 ・一人一人をきちんと見る教師のまなざしが全員の「心の居場所」を守り抜く。 ・Q・Uやいじめアンケートを丁寧に読み解く。 ・夢を語り合い、表現させる。(キャリア教育の推進) (2) すべての子への基礎学力の保障 ・現行及び次期学習指導要領(含:中教審答申)の趣旨や内容の理解を。 ・「最低学力保障一覧」内容を、特別な支援を要する児童以外に完全保障。保護者にもきちんと説明。特別な支援を要する児童とその保護者には、個別のハードルを明確に示す。 ・「学年教育計画」には検定も位置付け、評価やフォローも計画的に。 ・家庭学習(宿題と自学)も計画的に評価まで。 (3) 規律やマナーの定着 ・「大曲スタンダード」定着に向けた大曲3校の統一した意識と計画的取組。一貫性の担保。 ・立腰、鉛筆や箸の持ち方、廊下への整列(机整頓、机上統一)が重点。年度や学期はじめは、トレーニングを。 ・子供を責めずに「おいしい」やり直し「やるねえ」の展開。 ・生活リズムチェックシートの活用。 (4) 校務の整理と合理化 ・「各部門展開カレンダー」の策定。創造プロ「校務全体展開カレンダー」。 ・キャリア教育(北広島市教育推進計画の目玉)、アクティブラーニング(学習指導要領改定の目玉)などの教育課題への対応を。 ・「大曲の教育」の精選。 ・年3回の学校評価を生かした柔軟な展開。 ・PTA行事の整理を。 ・5年宿泊、6年修学旅行、各学年校外学習の系統、学習関連見直し。 ・会議の精選(ただし必要なことはしっかり)。稟議の年間計画。 (5) 研修 ・以上を推進する各教職員の地力を高める研修を豊富に。 ・全体研修、アドバイザー研修、道教委来校(全学級訪問型から、重点的参観型へ)、他校との協同研修会等を節目に。「学校力向上に関する総合実践事業」も活用。授業研究は、教師のライフライン。若手育成(拠点校指導、メンター研)		沿革史
			学力を保障する日常授業の改善をめざし、成果や問題点などの交流を活発にする実践的な研修 1 「学校力向上に関する総合実践事業」への創造的な取組 特に学力向上を中心にした、日常授業の充実と教員の資質向上を図る研修。近隣校との連携による初任者研修の充実。 2 大曲の匠・地域本部事業を中心とする地域との連携。 読み聞かせ、ブックトーク、花植え、放課後学習室、感謝集会等の取組。 3 環境・福祉・人権・平和教育の推進 地域との連携による花壇づくりや人権教室、平和集会、異学年集会、総合的な学習の時間での福祉学習等の推進。
			明治25年 月寒小学校分教場として創立 明治27年 広島尋常高等小学校大曲簡易小学校と改称 明治32年 大曲尋常小学校と改称 明治41年 輪厚小学校大曲分校と改称 大正 7年 大曲尋常小学校と改称 昭和16年 大曲国民学校と改称 昭和22年 広島村立大曲小学校と改称 昭和30年 校歌制定 昭和53年 校舎移転新築 昭和55年 講堂新築 昭和58年 第2期工事校舎増築 平成 3年 開校100周年記念式典挙行 平成 4年 大曲東小学校分離独立 平成13年 開校110周年記念式典挙行 平成14年 コンピュータ室整備工事 平成22年 校舎耐震化及び大規模改修工事 平成23年 開校120周年記念式典挙行 平成24年 学校力向上に関する総合実践事業指定 平成25年 17学級編成 平成26年 17学級編成 教育用コンピュータ定期更新 (タブレット型パソコン)

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(小学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名		北広島市立西の里小学校	
所在地	北広島市西の里401番地	校章の由来	六角形は雪の結晶を、厳しい風雪に耐える健康な生活を子どもに期待している。また、六角先端の縞模様は、原始の森のトド松を表し、自然の愛護と大自然の摂理を求める学習と生活を象徴している。
電話	375 2520		
開校年月日	明治33年5月13日		
校長名	駒場 義剛	研究主題	伝え合い、互いに学び合う児童の育成 ～教科・療育に応じてコミュニケーション能力を高めるための指導方法の工夫～
教頭名	木谷 金吾		
職員数	教諭 25名 養護教諭 1名 事務職員 2名 業務主事・事務補助員 2名 特別支援学級級助員 3名 特別支援教育支援員 2名 子どもと親の相談員 1名	特色ある教育活動	自然環境、社会福祉施設等の恵まれた教育環境を生かし、また、多様な人材を活用して次の教育活動を進めている。 (1)「里小の森」「里小動物園」「学校農園」を活用した体験的学習活動の充実・推進 (2)基礎的・基本的学力の確実な定着や個に応じた指導の為に、小人数指導等の実施 (3)個に応じたきめ細かな生徒指導の充実・ノーマライゼーション地域を生かす福祉教育、ボランティア学習活動の充実・推進 (4)「地域で子育て」を推し進めるための、学校支援ボランティアの活用、西の里地区健全育成会やシルバーPTA等との協働活動の推進・充実 (5)全校一斉の朝読書の取り組み、保護者による「絵本を読む会」の読み聞かせ
学級数 児童数	普通 15 学級 特別支援(知的1・情緒1・肢体1)3学級 470名		
学校の教育目標	自ら学ぶ意欲と確かな学力を持つ子どもを育てる。(進んで学習する子) 自然を愛し、自他を思いやる子どもを育てる。(思いやりのある子) 自らを高めるために強い意志と実践力を持つ子どもを育てる。(よく考え実行する子) 自ら鍛え、健康な体を持つ子どもを育てる。(元気に体を鍛える子)		
平成27年度 学校経営の基本方針	1 基本方針 豊かな人間性、健やかな体、確かな学力などを根幹とする『生きる力』の育成を目指し、家庭・地域と連携を深めながら共に歩む学校の創造 2 重点 創意を生かして「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を推進し、一人ひとりの子ども達が楽しく、豊かに学ぶことのできる学校を創る。 西の里ブランドの進化発展  あいさつ ボランティア コミュニケーション	沿革史	明治33年 野幌簡易教育所として創設 明治35年 4年制となる 明治40年 校舎移転(現上野幌駅東側) 明治41年 広島尋常高等小学校野幌分教所と改称 昭和4年 校舎移転(現在地) 昭和9年 広島野幌尋常小学校と改称 昭和16年 広島野幌国民学校と改称 昭和22年 広島村立西の里小学校と改称 昭和23年 開拓学級併設 昭和26年 村立東部中学校西の里分校開設 昭和35年 校章・校歌制定 昭和50年 校舎・体育館新增築 昭和50年 里小冒険の森完成 昭和61年 動物園贈呈される 平成6年 北海道科学技術振興作品展学校賞 平成11年 体育館改築工事完工 平成12年 開校百周年体育館落成記念式典祝賀会挙行 平成18年 東校舎増築 平成19年 広教研研究中心校指定研究発表 平成20年 耐震補強、大規模改修工事完工 平成20年 西の里小学校陽香分教室開設 平成23年 西の里小学校陽香分校開校

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(小学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名		北広島市立西の里小学校陽香分校		
所在地	北広島市西の里1015番地		校章の由来	札幌市南区南の沢に学院が設置されていた当時、生徒に図案についてアンケートを実施すると学院舎の向かい側に広がるラベンダー畑に咲く花を選びました。生徒の思いを、「向」の文字をベースに「前向き」「太陽を見る」などの意味を持たせ、札幌市在住のデザイナー山下国男氏が作成しました。
電話	375-3673			
開校年月日	平成23年 4月 1日			
校長名	駒 場 義 剛		研究主題	学ぶ意欲を持ち、主体的に行動(学習)できる 児童・生徒の育成
教頭名	山 口 歩			
職員数	教 諭	4名	特色ある教育活動	複数の教員による個に応じた指導の実施 ・算数や国語、外国語などほとんどの教科において複数の教員や施設職員が協力し合いながら個に応じた指導にあたり、誰もがわかる喜びを味わえるように努めています。 野鳥観察など環境教育の実施 ・総合的な学習の時間「HARUKAタイム」に、学校周辺の森林にやってくる野鳥観察を通して、生命の尊さや環境の大切さを学びます。 ・野鳥の餌となる「ひまわり」の栽培活動をします。 ・冬期間は、雪を活用し生活を豊かにする造形活動をします。 道徳や自然・地域から学ぶ心の教育の実施 ・豊かな心をはぐくむため、道徳の時間はもとより、総合的な学習の時間を活用し、恵まれた自然環境の中での環境教育(動物・植物・昆虫の命)や性教育の充実に努めています。 分校と学院が一体となった行事の実施 ・体育大会、学院祭、マラソン大会では、小学生、中学生、卒生が、一緒になって行事を実施しています。
	養護教諭	1名		
	事務職員	1名		
学級数	普通学級	1学級		
児童数	特別支援(知的1)	1学級 2名		
学校の教育目標	社会に適応し、自立できる人間の育成をめざし、生命・人間尊重の精神を培い、健康で人間性豊かな生徒の育成に努める。			
平成27年度 学校経営の基本方針	[重点教育目標] (1)基本的な生活習慣や学習態度、基礎的・基本的な学習内容を自ら身に付ける児童の育成。 (2)笑顔とあいさつ、感謝する心を大切に児童の育成。 (3)自他の健康を考え、心身ともに調和のとれた元気な児童の育成。 (4)自律し、学校復帰や進路実現を果たすことのできる児童の育成。 [学校経営の方針と重点] (1)北広島市の具体的な実践目標及び実践目標達成の手立て 環境、福祉、人権、平和教育の実施を推進し、陽香分校の実態に応じた取り組みを進めていく。 (2)安心・安全な学校づくり 基本的な生活習慣の確立を努め、児童一人一人が安心して学校生活をおくることのできる安全な学校づくりを行っていく。 (3)やりがいのある職場づくり 日常的なコミュニケーションを大切にしながらお互いを高めあい、中学校分校や学院、関係する諸機関とも連携し、やりがいのある職場づくりを行っていく。 (4)予算の有効利用 限られた予算を重点を決めて有効活用していく。 (5)学校改善につながる学校評価 個々の児童の変容を日常的に見取ることによって評価し、細かなRPDCAの繰り返しにより学校改善を行っていく。		沿革史	平成13年1月 北海道福祉部より児童自立支援施設に学校教育を導入するための協議 平成17年1月 第3回「児童自立支援施設における学校教育導入関係機関打合せ会議」開催 平成20年4月 教育課程編成等のため、向陽学院に指導主事(教員)1名配置 平成20年5月 「道内児童自立支援施設の学校教育実施に係る連携組織」設置。第1回会議を開催 平成20年12月 北広島市議会第4回定例会において「学校設置条例の一部改正」により北広島市立西の里中学校陽香分校の設置を決定 平成21年3月 学校設置に係る「協定書、基本方針」について北海道など関係機関と締結 平成21年4月 北広島市立西の里中学校陽香分校の開設、開校記念式典の挙行 平成21年7月 特別支援学級の開設(知的) 平成21年7月 北広島市立西の里小学校陽香分教室の併設 平成23年4月 北広島市立西の里小学校陽香分校の開設 平成25年7月 普通教室一部改修

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(小学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名	 北広島市立北の台小学校		
所在地	北広島市共栄町4丁目6番地1	校章の由来	まわりのペン3本は、「市の木かえで」の果実の翼の下を表し、知・徳・体を表す。また円は豊かな人間形成を願い、協力・助け合いを表す。
電話	373-3500		
開校年月日	平成2年4月10日		
校長名	田井博昭	研究主題	いきいきと学び合う児童の育成 ～算数科の学習指導を通して～
教頭名	中川幹彦		
職員数	教諭 26名 栄養教諭 1名 養護教諭 1名 事務職員 1名 心の教室相談員 1名 業務主事・事務補助員 2名 特別支援教育支援員 2名 特別支援学級介助員 1名	特色ある教育活動	【めざす学校像】 大志の故郷 ど真ん中に子どもの夢がある学校 (平成27年制定) (1)心の教育の充実 地域の老人クラブや札幌養護学校共栄分校の生徒、特別支援学級と通常学級との交流 朝の全校読書の推進。読み聞かせ等の啓蒙 (2)確かな学力の向上 基礎・基本の徹底と体験的・問題解決的学習の推進 Kチャレタイム(読書・漢字・計算)や放課後学習の充実 TT・少人数指導の活用 教育機器を積極的に活用した授業実践 形成的評価方法の工夫 (3)地域と連携した教育の推進 地域の支援による環境・福祉・人権教育推進 なかよし菜園を活用した栽培活動・パークゴルフ教室の実施 学校支援地域本部事業による長期休業中の学習会
学級数	普通 15学級 通級指導教室1		
児童数	特別支援(知的1・情緒1・肢体1) 3学級 450名		
学校の教育目標	未来に向かって やる気いっぱい やさしさいっぱい ともにかがやく 北の台っ子 思いやりのある子 (情) 最後までがんばる子 (意) 進んで学ぶ子 (知) たくましく生きる子 (体)		
平成27年度 学校経営の基本方針	【学校経営の基本方針】 児童が主体的に取り組み、学ぶ喜び・生きる喜びを感じ、自己有用感や自己肯定感を育み「生きる力」を獲得し、夢と希望を胸に将来の自立を図ることができるように教職員が創意ある取り組みを進める。 1.つながる力を生かした学校経営を積極的に推進する。 2.学ぶ方法を身につけ、自ら学ぶ喜びをかきたてる学習指導を実現する。 3.心のふれあいを大切にし、自立する生き方を育てる協働体制を確立し推進する。 4.心身を鍛え、健康や生命を尊ぶ実践的態度を育てる健康安全指導の充実に努める。 5.教職員一人ひとりのゆたかな生き方や資質向上に結びつく研修活動の充実に努める。 【年度の重点】 1.キャリア教育の全体計画と推進 2.学力向上に向けた学習規律の確立と家庭学習の習慣化 3.「学び合い」の研究のまとめと還元 4.生活規律の確立と事故やけがの防止(児童の主体的な取組) 5.体力向上に向けた体力づくりと校舎の美化・環境整備 6.読書活動の推進とICTの活用(広教研小文連対応) 7.学習活動に資する教育環境の整備・充実	沿革史	平成2年 東部小学校から分離して開校 校章・校歌制定 平成4年 文部省教科書研究校(国語)に指定 平成11年 北海道教育実践研究報告集に実践論文全文掲載 開校10周年記念行事挙行 平成14年 コンピュータ室完成 平成16年 北海道発明工夫教育連盟会長賞の特別賞(学校賞)受賞 平成17年 北海道発明工夫教育連盟会長賞の特別賞(学校賞)受賞 平成18年 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成19年 文部科学大臣創意工夫育成功労学校賞受賞 平成20年 西側校舎耐震工事 平成21年 校内LANの整備・各教室にプロジェクター・e黒板の設置 平成22年 学級増による一部校舎改装工事 開校20周年記念式典集会 平成23年 ボイラー更新工事、学級増による校舎改造・移設工事 平成24年 北海道放送教育研究大会発表校 屋上防水工事 平成25年 体育館耐震工事・校舎全面改修に向けての設計調査 平成26年 体育館耐震工事

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(小学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名		北広島市立大曲東小学校	
所在地	北広島市大曲光2丁目8番地		校章の由来 つつじの花に「大」の字、真ん中の「東」は地域の発展を期待している。
電話	377-7000		
開校年月日	平成4年4月1日		
校長名	高 秀 愛 司		研究主題 「学力保障と豊かな心の育成」
教頭名	吉 田 光 岐		
職員数	教諭 29名 養護教諭 1名 事務職員 2名 業務主事・事務補助員 2名 特別支援教育支援員 2名 特別支援学級介助員 2名 心の教室相談員 1名		特色ある教育活動 (1) 学校力向上に関する総合実践事業協力校の取組 ・学習規律の確立と徹底 ・教員の資質向上を図る研修の充実 ・会議の精選による時間の確保 ・家庭学習、放課後学習の取組 (2) 保護者・地域との連携、情報発信 ・大曲東小ホームページの充実 ・PTA便りの積極的な発行 ・「PTA活動の手引き」「新学年スタートガイドブック」の発行 ・サポーター支援活動 (3) 小中連携の推進 ・児童会、生徒会の意見交流 ・中学校吹奏楽部演奏会、部活動見学 ・小中相互乗り入れ授業 ・大曲スタンダード(3校共通の学習生活指導) (4) 全校縦割り活動 ・全校縦割り清掃
学級数	普通 16学級 特別支援(知的1・情緒1・肢体1)3学級		
児童数	523名		
学校の教育目標	心ゆたかに未来をひらく東小の子 ・すすんで学ぶ子 (知) ・仲よく助け合う子 (情) ・ねばり強くやりとげる子 (意) ・明るく元気な子 (体)		
平成27年度 学校経営の基本方針	学校経営の重点 《キーワード》 ・マナーの習得・モラルの向上・ルールの徹底 ・認め・励まし・ほめる指導を基本姿勢に 学校力向上に関する総合実践事業協力校の取組 (1) 信頼と調和のある学校づくり (2) 確かな学力の定着と向上 (3) 豊かな心の育成 (4) 健やかで逞しい体の育成 (5) 教職員協働による学校運営の推進 (6) 保護者・地域・関係機関との緊密な連携を図る		沿革史 平成4年 大曲小学校から分離して開校 校章・校歌制定 平成6年 公立学校優良施設校として表彰 平成10年 北広島市研究中心校発表会 平成12年 普通教室・ワークスペース増築 平成13年 開校10周年記念行事挙行 平成14年 コンピュータ室完成 デリバリーコンサート開始 平成17年 特殊学級開設(知・情・肢) 平成18年 学校ホームページ開設 平成19年 車いす市社会福祉協議会に寄贈(4台目) 花壇コンクール優良賞受賞 平成20年 花壇コンクール優良賞受賞 車いす市社会福祉協議会に寄贈(5台目) 平成21年 トイレ改修 (車椅子用トイレ設置、様式トイレ増設) 校内LAN整備、各教室にプロジェクター 電子黒板の設置、校務用パソコン20台設置 平成23年 開校20周年記念公開研究大会 北広島市研究中心校発表会 開校20周年をお祝いする会 エレベータ設置工事完了 平成24年 小中ジョイントプロジェクト事業クリーン活動 平成25年 全学級に実物投影機設置 小中ジョイントプロジェクト事業クリーン活動 平成26年 PC教室タブレット型パソコン40台設置

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(小学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名	 北広島市立双葉小学校		
所在地	北広島市若葉町3丁目12番地	校章の由来	平成24年4月制定 北広島の子を思い「北」の文字をデザインし、子と子が手をつなぎ明日へと歩む姿をイメージしています。太陽の光、伸び行く葉は、子どもたちが健やかに成長してほしい、新しい未来への願いを表現しています。
電話	373-5665		
開校年月日	平成24年 4月 1日		
校長名	若 山 真	研究主題	思いやりの心もち、 たくましく生きる子どもの育成 ～共に学び・認め・高め合う活動 (道徳・特活)を通して～
教頭名	赤 沼 宏 樹		
職員数	教 諭 21名 養護教諭 1名 事務職員 2名 特別支援教育支援員 2名 業務主事 1名 事務補助員 1名 心の教室相談員 1名	特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 自分から学ぶ子を育む教育活動 授業改善、言語活動の充実、チャレンジプリント、朝読書、朝学習、家庭学習推奨など みんなで学び、思いやる教育活動の工夫 (地域の自然、文化、人材を活かして) 道徳や特活、総合的な学習の時間を中心とした体験的授業の工夫、充実 縦割り班活動の充実(特別活動) 双葉小フェスティバル、顔合わせ会等 人権・平和・環境・福祉教育等の推進 人権教室、折り鶴集会、食育、ボランティア活動、稲作体験等 自分から みんなでできたえる教育活動の工夫 新体力テストの実施と分析、体力向上に向けての取り組みの推進、体育関連事業への参加推奨 「早寝・早起き・朝ごはん」等生活リズム向上に向けた啓発活動の推進
学級数	普通 12学級 特別支援(知的1・自閉情緒1・肢体1)3学級		
児童数	358名		
学校の教育目標	<教育目標> 自分から みんなで 学び 思いやり きたえる <めざす子ども像> 学びが元気 心が元気 体が元気 元気いっぱいいのふたばっ子		
平成27年度 学校経営の 基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 基本方針 <ol style="list-style-type: none"> 協働と創意を基調に信頼と調和のある学校づくりの推進 個性に応じて子どもの豊かな自己実現を図る教育の推進 基礎・基本の定着と活用力、自ら学び・考える力や集団で学び合い高め合う力を育む教育の推進 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 一人一人の児童を活かし、人間としての教養を育む教育活動の推進 家庭・地域・異校種・機関と連携して、互恵の心と行動を育む教育の推進 学校経営の重点 <ol style="list-style-type: none"> 基礎の充実 「学びが元気」 確かな学力を身につけさせる 「心が元気」 豊かな心を育む 「身体が元気」 健やかな体を育む 「安全安心な学校」づくり 北広島市学校教育推進計画・方針と関連した教育活動の推進 	沿革史	<p>平成24年 北広島市立双葉小学校開校 開校式・開校記念の集い 校歌・応援歌の制定 開校記念運動会・学芸発表会の実施</p> <p>平成25年 第2回大運動会 PTAふれあい祭り開催 第2回学芸発表会 開校記念日 第2回卒業証書授与式</p> <p>平成26年 第3回大運動会 PTAふれあい祭り開催 第3回学芸発表会 開校記念日 第3回卒業証書授与式</p>

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(小 学 校)

(平 成 27 年 5 月 1 日 現 在)

学校名		<h2 style="text-align: center;">北 広 島 市 立 緑 ケ 丘 小 学 校</h2>														
所在地	北 広 島 市 高 台 町 2 丁 目 1 番 地		校 章 の 由 来 高 台 小 学 校 と 緑 陽 小 学 校 が 統 合 し て で き る 緑 ケ 丘 小 学 校 と 周 囲 の 自 然 ・ 風 土 ・ 歴 史 を イ メ ー ジ し た も の 。 高 台 小 学 校 と 緑 陽 小 学 校 の 2 つ の 校 章 を モ チ ー フ に し 、 緑 の 丘 が イ メ ー ジ で き る デ ザ イ ン と し た 。 豊 か な 自 然 に 抱 か れ た 環 境 の 中 で 、 将 来 の 夢 や 希 望 に 向 か っ て た く ま し く 成 長 す る 児 童 と 学 校 の 姿 を シ ン プ ル に 力 強 く 表 現 し て い る 。													
電 話	3 7 3 3 3 3 0															
開 校 年 月 日	平 成 2 4 年 4 月 1 日															
校 長 名	東 口 明 雄															
教 頭 名	設 楽 真 奈 美		研 究 主 題 <h3 style="text-align: center;">「よりよい人間関係を築く力の育成」 ～学級活動における話し合いの工夫を通して～</h3>													
職 員 数	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>教諭</td> <td style="text-align: right;">18名</td> </tr> <tr> <td>養護教諭</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> <tr> <td>事務職員</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> <tr> <td>特別支援員</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> <tr> <td>介助員</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> <tr> <td>業務主事・事務補助員</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> <tr> <td>子どもと親の相談員</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> </table>			教諭	18名	養護教諭	1名	事務職員	1名	特別支援員	2名	介助員	1名	業務主事・事務補助員	2名	子どもと親の相談員
教諭	18名															
養護教諭	1名															
事務職員	1名															
特別支援員	2名															
介助員	1名															
業務主事・事務補助員	2名															
子どもと親の相談員	1名															
学 級 数 児 童 数	普 通 8 学 級 特 別 支 援 (知 的 1 ・ 情 緒 1) 2 学 級 2 0 1 名		特 色 あ る 教 育 活 動 <ol style="list-style-type: none"> 1、学 び づ くり わかる喜びを味わえる授業づくり ・ 教えて考えさせる授業 ・ 「読む・書く・聞く」力の向上 学びの連続性 ・ 学びを連続させる家庭学習 ・ 学習規律の確立 2、心 づ くり 良好な学習・生活集団の形成 ・ 話し合い活動の充実 ・ マナーの向上 キャリア教育の推進 ・ 豊かな感動体験・社会体験 3、体 づ くり 進んで体を鍛える意欲の向上 ・ 新体力テストの活用 ・ 遊びを手段とした体力の向上 基本的な生活習慣の確立 ・ 生活リズムチェックシートの活用 													
学 校 の 教 育 目 標	<h3 style="text-align: center;">「大地に根ざし 未来を拓く 人間の育成」</h3> 進んで考え、伝え合う子 [知] やさしい心で、支え合う子 [徳] 心も体も、元気な子 [体]															
平 成 2 7 年 度 学 校 経 営 の 基 本 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本方針 協働意識に基づいた創意ある学校経営の推進 基礎的・基本的内容の確実な定着と児童の意欲を高める学習指導の充実 豊かな心とたくましい体を育てる教育活動の推進 一人ひとりの児童の実態に応じた生徒指導と特別支援教育の充実 保護者や地域の信頼に応え、児童の安心・安全を高める学校づくりの推進 北広島市の教育推進方針と連動した教育活動の推進 2 教育活動の重点 「思いやりの心を持ち、主体的に学ぶ子の育成」 		沿 革 史 平 成 2 4 年 北 広 島 市 立 緑 ケ 丘 小 学 校 開 校 開 校 式 ・ 開 校 記 念 の 集 い 北 海 道 青 少 年 科 学 技 術 振 興 作 品 展 学 校 賞 受 賞 平 成 2 5 年 北 海 道 教 育 支 援 活 動 推 進 フ ォ ー ラ ム に て 、 な の は な 学 級 が 太 鼓 演 奏 発 表 北 広 島 市 教 育 研 究 会 小 学 校 文 化 事 業 委 員 会 事 務 局 指 定 学 校 力 向 上 に 関 す る 総 合 実 践 事 業 近 隣 校 指 定 平 成 2 6 年 北 広 島 市 教 育 研 究 会 小 学 校 文 化 事 業 委 員 会 事 務 局 指 定 学 校 力 向 上 に 関 す る 総 合 実 践 事 業 近 隣 校 指 定													

各 学 校 の 概 要

(中学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名	 北広島市立東部中学校
所在地	北広島市美咲き野1丁目12番地1
電話	372-3030
開校年月日	昭和22年 5月 1日
校長名	高 野 和 男
教頭名	津 谷 昌 樹
職員数	教 諭 30名 養護教諭 1名 事務職員 1名 業務主事・事務補助員 2名 特別支援学級介助員 2名 特別支援教育支援員 1名 心の教室相談員 1名 スクールカウンセラー 1名
学級数	普通 12学級
生徒数	特別支援(知的1・情緒1・肢体1)3学級 406名
学校の教育目標	『夢をもち たくましく』 心を磨き(心) 知性を高め(知) 身体を鍛え(体) 共に生きん(労)
平成27年度 学校経営の 基本方針	【重点教育目標】 「自ら志を立て 自ら考え行動し 心豊かに協働する生徒の育成」 ～伝える！コミュニケーション力の発揮～ 【学校経営方針】 信頼と調和のある内外に開かれた特色ある 学校づくりの推進 志を育て自己有用感を培うキャリア教育の 推進 「確かな学力」と「主体的な学びの意欲」 を育む教育の推進 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育 む教育の推進 「共生」の心を基調に、人間尊重の精神を 育む教育の推進 家庭や地域・小学校と連携し、地域と共に 歩む教育の推進 【教育信条】 活動の信条「連携の絆と和」 「感心・感動・感謝」 教師の信条「凡事徹底」 「認め、励まし、ほめて、伸ばす」 継承の精神「文武両道」「心を開くあいさつ」
校章の由来	HIROSHIMAの頭文字Hの中に東中(東部中の略称)を表し、広島東部中学校を端的に単純に示した図案に文化の象徴であるペンを配したものの。
研究主題	自ら学び、共に高め合う生徒の育成 ～「教えて考えさせる授業」の実践、 個に応じた効果的な支援の工夫～
特色ある教育活動	(1)各種募金、ベルマーク活動 (2)地域清掃など各種ボランティア活動 (3)伝統行事の取り組み (4)朝読書 (5)学校祭PTAバザー(OB会の参加) (6)運動会種目を中心とした体育祭 (7)花ホールを使った合唱コンクールの開催 (8)地域と連携した教育(学校支援地域本部事業) (9)ノーチャイムデイの取り組み (10)いじめを許さない学校を目指す取組
沿革史	昭和22年 新学制公布により広島村東部中学校設立 昭和25年 広島村字共栄に独立校舎建設 昭和34年 開校10周年記念事業として校歌制定 昭和39年 村営プール開き 昭和46年 鉄筋3階建防音校舎落成 昭和49年 新設広葉中学校へ生徒分離 昭和51年 講堂落成、開校30周年記念式典 昭和53年 第一応援歌制定 昭和61年 校舎増築(普通教室8・特別教室4) 平成2年 東部中学校新校舎完成 (普通教室15・特別教室12) 平成7年 コンピュータ室完成(PC22台設置) 平成9年 開校50周年記念式典 平成10年 「心の教室」開設 コンピュータ教室インターネット接続 平成12年 肢体不自由児女子トイレ・階段昇降機設置 平成14年 完全学校給食開始 平成15年 石教研・広教研学校課題発表 平成16年 女子ソフトテニス全国団体3位 平成17年 女子ソフトテニス全国団体3位 女子ソフトテニス石狩教育局長賞受賞 平成18年 女子ソフトテニス個人全国出場 平成19年 相撲全国大会出場 平成20年 陸上女子走幅跳全国大会出場 野球部アジアU15親善野球で台湾遠征 平成22年 全教室に電子黒板設置 平成23年 女子バドミントン個人全国出場 平成24年 北海道放送教育研究大会開催 コンピュータ室更新・無線LAN設置 女子バドミントン個人全国出場 平成25年 野球部全国大会出場 平成26年 新指定制服を制定(ブレザースタイル) 生徒会を「東中会」と命名・生徒会旗作成 エレベータ設置

注1.教諭数には校長・教頭を含む


各 学 校 の 概 要

(中学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名		北広島市立西部中学校	
所在地	北広島市輪厚中央1丁目12番地1		校章の由来 全体は雪国北海道を象徴し、西部中学校の「西」で形どっており、中央は中学校の「中」で金色、円をもって囲んでいるが、円は協力と円満を表している。全体として、純白な雪の如き心で仲良く協力し、平和と民主的な人格を理念として進む道を示している。
電話	376-2252		
開校年月日	昭和22年 5月 1日		
校長名	新 田 元 紀		
教頭名	金 森 直 人		研究主題 「つながりを活かしながら夢を持ち、自ら学ぶ意欲を持つ生徒の育成」 ～「つながり」を意識させる教育活動を通して、生きる目標や夢を持ち、学ぶ意欲を高める生徒の育成を目指して～
職員数	教 諭 18名 養護教諭 1名 事務職員 2名 業務主事 1名 事務補助員 1名 心の教室相談員 1名 スクールカウンセラー 1名		
学級数	普通学級 6学級 特別支援学級 4学級		特色ある教育活動 キャリア教育・ユネスコスクールとしての実践 <職場体験学習と全日空OPENへのボランティアの実施> 自己設定したテーマに基づき職業について調べ学習を行い、地域事業所等で職場体験を実施。また、地域の輪厚ゴルフ場で行われる男子プロゴルフ大会、全日空オープンにボランティアとして参加。冬季は地域の除雪ボランティアを実施。 <農業体験・加 戸農園作業を通じたESD環境教育実践> 近隣農家への農業体験学習の実施。カボチャを種から育て、栽培、収穫から地域への寄贈や社会貢献という持続可能な循環型社会を目指す環境教育を実践。 <人権・福祉・環境・平和・国際理解教育の実践> 人権教室や命の大切さについての学習・福祉体験や福祉学習の充実・ESD・平和や国際理解教育(北大留学生との交流やJICAを活用しての授業)に力を入れている。 コミュニティ・スクールの推進 文科省、北広島市の指定を受け、コミュニティ・スクール事業を推進。小中9年間の発達や学びを支える教育の充実を目指し、小学校、地域の関係機関等と連携しながら「地域とともにある学校づくり」を進めている。地域の人材活用、地域貢献、CSを利用した学力向上や生活改善策、情報発信活動に力を入れている。
生徒数	189名		
学校の教育目標	○ 自ら考える生徒 (創造) ○ 思いやる生徒 (誠実) ○ 行動する生徒 (自主) ○ きたえる生徒 (健康)		
平成27年度 学校経営の基本方針	<p>大志・自信、そして仲間とともに躍動する生徒の育成</p> <p>～生き方に迫る「確かな学力、豊かな人間性・社会性」を育成する教育の創造～</p> <p>「大志」～夢や希望を持ち、「なりたい自分」に挑戦し続ける強さ</p> <p>「自信」～他者との関わりを前提にして生まれる自分に対する肯定的な感情(自己有用感)</p> <p>「仲間とともに」～チーム作業の中で役割を果たす力、持続的に学び続ける力、自分の参加により社会を変えられる意識等の豊かな人間性・社会性</p> <p>「躍動する」～明るく前向きに、生き生きと自己実現に努める姿</p> <p>「生き方に迫る」～キャリア教育の視点で、将来社会で生活していくための力の獲得</p> <p>自立して未来を志向し、夢や希望を持ちながら自己実現を図っていくために必要な資質や能力、確かな学力を育み、他者との関わりの中での様々な経験を通して、思いやりの心や自己有用感、規範意識、学習意欲、目的意識、共感的人間関係、望ましい勤労観・職業観を育むなど、豊かな人間性や社会性を育て「生きる力」の基礎を築いていく。またその際、未来の社会人を育てる「キャリア教育」の視点に立って、義務教育9年間での「めざす子ども像」を明らかにした連続した学びを創造していく。</p> <p>それらの活動を通し「大志をいだき、自信を持って、仲間とともに躍動する生徒」を育成していく。</p>		沿革史 昭和21年 新学制公布により広島村西部中学校設立 昭和22年 西部中学校大曲分校を開校(1学級認可) 昭和27年 独立校舎に移転、校章を制定 昭和28年 屋内体育館落成(104坪) 昭和33年 校歌制定 昭和35年 大曲分校独立 昭和42年 開校20周年記念、防音校舎落成記念式挙行 昭和45年 学校祭に地域文化祭及びバザー開催 昭和49年 講堂落成(体育館) 昭和59年 ゴルフクラブ設置 昭和60年 学校農園で広島特産カボチャづくり開始 平成4年 北海道ボランティア実践研究発表会で学校農園活動を公開発表 平成13年 増築校舎完成(普通教室4、特別教室4) 平成16年 校舎大規模改造完成 平成17年 PTAの協力によりグラウンド拡張整備完了 平成19年 開校60周年記念事業(記念集会及び植樹) 平成21年 特別支援学級「楓」開設 平成22年 合唱部 北広島市青少年文化奨励賞受賞 小中連携推進委員会発足 平成24年 ユネスコ・スクールに認定 平成25年 新体育館竣工(3.8) 西部コミュニティ・スクール運営委員会設立(5.16) 石狩管内中体連女子ソフトボール大会準優勝 NHK学校音楽コンクール札幌地区金賞・道大会銅賞 石教研・広教研学校課題研究発表会 平成26年 石狩管内教育実践奨励表彰受賞(2.16) 石狩管内中体連女子ソフトボール大会第3位 NHK学校音楽コンクール札幌地区銀賞 平成27年 ユネスコスクール(エフパルク)ボランティア参加

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

学校名	 <h2 style="text-align: center;">北広島市立大曲中学校</h2>		
所在地	北広島市大曲中央2丁目4番地 1		
電話	3 7 6 - 2 3 5 4		
開校年月日	昭和 2 2 年 5 月 3 1 日		
校長名	田 中 真 路		
教頭名	小 笠 原 輝 幸		
職員数	教 諭 3 8 名 主幹教諭 1 名 養護教諭 1 名 事務職員 2 名 業務主事・事務補助員 2 名 特別支援学級介助員 1 名 心の教室相談員 1 名 スクールカウンセラー 1 名 時間講師 1 名		
学級数 生徒数	普通学級 1 8 学級 特別支援(知的1・情緒1) 2 学級 5 8 5 名		
学校の教育目標	(1) 自ら考え行動する生徒 (2) とともに学び高め合う生徒 (3) 豊かな感性を培う生徒 (4) 健やかな心身を育む生徒		
平成 27 年度 学校経営の 基本方針	<p>すべての教育活動の主体は生徒であることを原点に据え、心のふれ合い、学び合いを重視し、信頼関係を基盤にした調和のとれた学校づくりの推進。</p> <p>子どもの個性を尊重し、自己肯定感を育み自己実現を図る教育の推進。</p> <p>基礎・基本の定着を図り、学ぶ意欲や自ら課題を見つけ解決する力、自らの考えをきちんと伝える力を育む教育の推進。</p> <p>豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進。</p> <p>自分を開き異なるものを認め、人間としての尊厳を大切にすると実践力を育む教育の推進。</p> <p>家庭や地域、小学校との連携を図り、情報発信を積極的に推進する開かれた学校づくりの推進。</p>		
校章の由来	前庭に多く茂っているナラの木の葉を表している。コナラ、ミズナラなどの木を「柞(ははそ)」と呼び、その葉が「柞葉(ははそば)」であり、本校の歴史を象徴するものである。		
研究主題	『意欲的に学習に取り組み、自ら課題を解決しようとする生徒の育成』 ~生徒の能動的な学びを促す授業づくりを通して~		
特色ある教育活動	「朝活動」の推進(10分間) あいさつ運動の推進(健連協との連携) 生徒会各種ボランティア活動の推進 (クリーン作戦・除雪・各種募金活動) 地域、家庭に開かれた学校を目指した 「月1回のフリー参観日」の実施 「総合的な学習の時間」 [柞(ははそ)タイム] の実践 *保護者・有志のボランティア募集 地域の方を講師にした授業の実践 小中連携の推進 (巡回指導教員実践事業、 学校力向上に関する総合実践事業)		
沿革史	昭和 2 2 年 広島村立西部中学校大曲分校として設置 昭和 3 5 年 広島村立大曲中学校として独立 昭和 3 6 年 大曲中学校新築校舎完成 昭和 4 3 年 大曲中学校校歌制定 昭和 4 6 年 防音防止対策新築校舎完成 昭和 5 4 年 増築校舎完成 (技術室・家庭科室・普通教室・玄関) 昭和 6 0 年 増改築校舎完成 (普通教室 8 ・特別教室 3) 昭和 6 3 年 開校 4 0 周年、体育館落成記念式典 平成 3 年 増築校舎完成 (普通教室 6 ・特学教室 2 ・理科室 ・音楽室・校長室・ボイラー室) 校舎大規模改修工事完成 (被服室・美術室等) 平成 5 年 コンピュータ機器 2 2 台設置 平成 8 年 テニスコート新設 平成 9 年 全国中体連水泳大会出場 平成 1 1 年 全国中体連ソフトテニス大会出場 平成 1 2 年 HBC ども音楽コンクール全国大会出場 平成 1 5 年 中体連全国大会(フィギュア) HBC ども音楽コンクール全国大会出場 平成 1 6 年 トイレ改修工事(身障者用トイレ設置) 平成 1 7 年 全国中体連剣道、ソフトテニス大会出場 平成 1 9 年 全国中体連ソフトテニス大会出場 平成 2 0 年 身障者用トイレ、玄関スロープ設置 体育館ボイラー更新 平成 2 1 年 エレベーター設置 平成 2 2 年 中央校舎耐震工事 平成 2 3 年 全国中体連陸上大会出場 全国中体連スキー大会(ジャンプ)出場 平成 2 4 年 全国中体連野球・スキー大会(ジャンプ)出場 平成 2 5 年 全国中体連スキー大会(ジャンプ)7位入賞		

注 1 . 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(中学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名		北広島市立西の里中学校	
所在地	北広島市西の里790番地		校章の由来 三角形は永遠の進歩と安定を表している。その中に伸びやかなとど松を配して、地域の象徴とした。円形部分は、上部に西を、下部に里を入れている。「とど松のごとく、伸びよ、たくましく、里中生徒」を願望している。
電話	375-2843		
開校年月日	昭和35年 5月 1日		
校長名	高 橋 たい子		
教頭名	川 端 健 裕		研究主題 言葉力の育成による、包括的な学力(基礎と応用)の向上 ~「わかる」授業から「できる」授業へのステップアップを通して~
職員数	教 諭 21名 栄養教諭 1名 養護教諭 1名 事務職員 1名 業務主事 1名 事務補助員 1名 心の教室相談員 1名 スクールカウンセラー 1名		
学級数 生徒数	普通学級 8学級 特別支援(情緒1・知的1) 2学級 248名		特色ある教育活動 社会人としての基盤づくりを進めるキャリア教育 地域交流学習(1年)、職場体験・職場訪問(2年)、 商人体験・高校訪問・進路講話(3年)の実施 花いっぱい運動 (北広島市花のまちコンクール「優秀賞」(最高賞) 受賞を始め19年連続入賞) 校内百人一首大会 昭和59年から続いている本校の伝統的行事で地域の方も生徒と一緒に参加し、読み手としても協力をいただいている。 ボランティア活動 地域と連携したボランティアの生徒による「町内一斉清掃」への積極的な参加実施の他、「チャリティコンサート」や「交通安全街頭啓発運動」「ペットボトルキャップ収集」等に取り組んでいる。
学校の教育目標	教育目標 『賢く 優しく たくましく』 重点教育目標 1) 学ぶ意義や楽しさを実感し、目標に向かってひたむきに学習する生徒の育成 2) 仲間を大切にし、ふるさと「西の里」を大切にする生徒、感謝の心を大切にする生徒の育成 3) 望ましい生活習慣や食習慣を身に付け、運動や音楽、美術、ものづくりを大切にする、心身ともに調和のとれた生徒の育成		
平成27年度 学校経営の基本方針	<学校経営の方針> 重点教育目標の実現を目指し、生徒の笑顔と保護者の笑顔、教職員の笑顔があふれ、地域から信頼される学校づくりを進めます。そのため、「なってほしい、笑顔の似合う学校に」を私たちの願いとし、次の内容を今年度の学校経営の重点に学校経営を進めます。 <学校経営の重点> 1) 北広島市の「具体的実践目標」及び「実践目標達成の手立て」との関連 義務教育9年間を修了するに相応しい「学力」「学びの意欲」「社会性」を育成するため、「未来の社会人を育てるキャリア教育」を推進し、連続した学びと自己有用感を育てる教育活動を工夫します。 2) 安全・安心に生活が送れ、豊かな感性を育てる学校づくり 生徒指導や防災体制を充実させ安全・安心に学ぶことができる教育環境づくりを進めます。 3) やりがいのある職場、訪れた方を気持ちよく迎える職場づくり 日常的なコミュニケーションを大切にするとともに、学校の教育課題の解決を図る校内研究を推進し仕事の意義や成果、やりがいを実感できる職場づくりを進めます。 4) 学校予算の有効活用と見通しを持った計画的な予算要望 予算にかかわる情報を教職員が共有し、学校配分予算を有効活用するとともに、市教委との連携を密にし、学校の要望やニーズを具体的に伝えます。 5) 学校改善につなげる学校評価 PDCAサイクルを確立し、学校評価を学校経営の改善に確実につなげるとともに、保護者や地域との相互理解のためのツールとして、保護者アンケートや学校評価等を有効活用します。		沿革史 昭和26年 広島村立東部中学校西の里分校設置 昭和35年 広島村立西の里中学校として独立 昭和43年 現在地に新校舎1期工事竣工 昭和44年 2期工事竣工 昭和45年 特殊学級1学級認可 校章制定・校歌制定・体育館新築落成 昭和52年 増築工事竣工(普通教室4・家庭科室) 昭和55年 西の里中学校同窓会発足 平成 元年 体育館新築完成 平成 8年 コンピュータ教室完成 平成 9年 「小さな親切」実行章の受章 平成14年 北海道社会福祉大会表彰(助け合い共同募金) 平成20年 「花のまちコンクール」14年連続優秀賞(最高賞)受賞 平成21年 増築工事竣工(普通教室5、特別教室6) 平成22年 改修工事竣工(普通教室4、特別教室6、他) 平成23年 新校舎完成(22年度3月引き渡し) 平成25年 コンピュータ教室PC入れ替え工事 平成26年 「花のまちコンクール」優秀賞(最高賞)受賞

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

各 学 校 の 概 要

(中学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名		北広島市立西の里中学校陽香分校	
所在地	北広島市西の里1015番地		校章の由来
電話	375-3673		
開校年月日	平成21年 4月 1日		
校長名	高 橋 た い 子		研究主題
教頭名	山 口 歩		
職員数	教 諭	9名	学ぶ意欲を持ち、主体的に行動(学習)できる 児童・生徒の育成
	養護教諭	(1名) 小中兼務	
	事務職員	(1名) 小中兼務	社会で「生きる」力を培う教科指導指導 ・基礎的・基本的な学力の定着と、主体的な学びの意欲の育成を図るため、一時間、一単元等での育てたい力を明確にした授業に努めるとともに、学習が役に立つことを実感できる教育活動を工夫します。 野鳥観察など環境教育の実施 ・豊かな自然を活用して総合的な学習の時間「HARUKAタイム」に、学校周辺の森林にやってくる野鳥観察を行っています。観察を通して、生命の尊さや環境の大切さを学んでいます。 ・野鳥の餌となる「ひまわり」の栽培活動をしています。 道徳や自然・地域から学ぶ心の教育の実施 ・豊かな心をはぐくむため、道徳の中に性教育を取り入れたり、自然(昆虫・植物・野鳥など)について学習したり、地域の外部講師を招いて読み聞かせを行うなど地域人材を活用した学習プログラムの工夫をしています。 ・福祉体験学習を通して自己有用感を育む教育を推進しています。 分校と学院が一体となった行事の実施 ・体育大会、学院祭など四季折々に分校と学院が一体となり行事を実施しています。行事に対して小学生、中学生、卒生が一緒に取り組むことで生徒の達成感、自己有用感を育んでいます。特にマラソン大会の取組は、寮生活の一環として長年実施されており、分校の体育の授業とも連携を図っています。
学級数	普通学級	2学級	
生徒数	特別支援(情緒1、知的1)	2学級	
学校の教育目標	社会に適応し、自立できる人間の育成をめざし、生命・人間尊重の精神を培い、健康で人間性豊かな生徒の育成に努める。		
平成27年度 学校経営の基本方針	【重点教育目標】 (1) きまりや学習の意義を自覚し、目標に向かって生活する中で、基本的な生活習慣や学習態度、基礎的・基本的な学習内容を身に付ける生徒の育成 (2) 笑顔とあいさつ、感謝する心を大切にするとともに、自分の感情をコントロールできる生徒の育成 (3) 自他の健康を考え、運動や音楽、美術、ものづくりなどを楽しむ、心身ともに調和のとれた元気な生徒の育成 (4) 自律し、学校復帰や進路実現を果たすことのできる生徒の育成。 【学校経営の方針と重点】 <私たちの願い> 子どもたちが将来よき社会人となり幸せな人生を送ってほしい ~ カット ~ (1)北広島市の「具体的実践目標」及び「実践目標達成の手立て」との関連 「義務教育修了に相応しい学力と社会性の育成」をめざし「未来の社会人を育てるキャリア教育」を推進し、連続した学びと自己有用感を育む教育活動を工夫します。 (2)安心・安全な生活が送れ、豊かな感性を育てる学校づくり スクールカウンセラー等との連携を工夫するとともに、生徒理解や教育相談、特別支援教育に関する専門性を一層高め、安心・安全に学ぶことができる教育環境づくりを進めます。 (3)やりがいのある職場、小中の一体感ある職場づくり 教育課題の解決を図る校内研究を推進し、仕事の意義や成果、やりがいを実感できる、小中の一体感を重視した職場づくりを進めます。 (4)予算の有効活用 市教委との連携を密にし、学校配分予算を有効活用します。 (5)学校改善につなげる学校評価 P D C A サイクルを充実させ、学校評価を学校経営の改善に確実につなげるとともに、学院との相互理解のためのツールとして学校評価等を有効活用します。		
	沿革史	平成13年1月 北海道福祉部より児童自立支援施設に学校教育を導入するための協議 平成17年1月 第3回「児童自立支援施設における学校教育導入関係機関打合せ会議」開催 平成20年4月 教育課程編成等のため、向陽学院に指導主事(教員)1名配置 平成20年5月 「道内児童自立支援施設の学校教育実施に係る連携組織」設置。第1回会議を開催 平成20年12月 北広島市議会第4回定例会において「学校設置条例の一部改正」により北広島市立西の里中学校陽香分校の設置を決定 平成21年3月 学校設置に係る「協定書、基本方針」について北海道など関係機関と締結 平成21年4月 北広島市立西の里中学校陽香分校の開設、開校記念式典の挙行 平成21年7月 特別支援学級の開設(知的) 平成21年7月 北広島市立西の里小学校陽香分教室の併設 平成23年4月 北広島市立西の里小学校陽香分校の開設 平成25年7月 普通教室一部改修	

各 学 校 の 概 要

(中学校)

(平成27年5月1日現在)

学校名		北広島市立広葉中学校	
所在地	北広島市広葉町5丁目1番地	校章の由来	三枚の木の葉は校名の広葉を意味し、それぞれ教育目標の「英知」「創造」「健康」を表し、それらが組み合わさることによって、がっちりとした協力体制をめざしている。
電話	011-373-4918		
開校年月日	昭和49年 2月 1日		
校長名	三 浦 利 章	研究主題	豊かな心と確かな学力を 身につけた生徒の育成
教頭名	藤 村 哲 子		
職員数	教 諭 16名 養護教諭 1名 栄養教諭 1名 事務職員 1名 業務主事・事務補助員 2名 スクールカウンセラー 1名 心の教室相談員 1名	特色ある教育活動	豊かな心の育成を推進する活動 ・地域ゴミ拾い(春:全校 秋:小6と中1) ・除雪ボランティア ・SV委員会の活動 教科、道徳、総合的な学習での外部人材活用 ・人権教室 ・平和集会 ・福祉学習 ・空手道(空手連盟) ・和楽器演奏(箏) ・救急救命講習(消防署) ・北大合唱団による合唱指導 ・ケータイ安全教室(NTT DOCOMO) ・薬物乱用防止教室(ライオンズクラブ) 職場体験学習(キャリア教育) 1年 酪農、畑作体験学習 2年 2日間の職場体験学習 函館市内見学 3年 修学旅行(関東方面) 上級学校体験
学級数	普通 6学級 特別支援(知的1情緒1)2学級		
生徒数	186名		
学校の教育目標	・自ら思考し 真理を求め生徒 学ぼう ・豊かな信条を持ち 互いに協力する生徒 拓こう ・創意を生かし 主体的に行動する生徒 つなごう ・心身ともに健康で たくましい生徒 たくましく	沿革史	昭和49年 2月開校 3学級 98名 東部中学校で授業開始 4月東部中学校と分離 校歌・校章制定 昭和53年 緑陽中学校開校に伴い分離 昭和57年 障害児学級開設 昭和61年 18学級・特学2学級生徒数718名 平成 2年 文部省指定教育実践奨励賞受賞 平成 3年 教育局実践奨励賞受賞 平成 4年 コンピュータ教室・多目的教室完成 平成 8年 石狩管内視聴覚教育研究大会 平成12年 給食調理棟・ランチルーム完成 平成15年 開校30周年記念式典 平成16年 文部科学省指定学力向上フロンティア事業研究発表会 文部科学省指定人権教育総合推進地域事業実践発表会 平成17年 文部科学省キャリア教育実践プロジェクト事業 平成22年 ICT環境、校内LAN整備 電子黒板設置 女子バスケットジュニアスポーツ奨励賞 校内耐震工事・大改修 平成23年 石狩管内学校課題研究発表会 平成25年 開校40周年
平成27年度 学校経営の基本方針	平成27年度重点 『自己指導能力の育成』 生徒指導の3つの機能をあらゆる教育活動の場に生かす 自己決定の場を与える 自己存在感を与える 共感的人間関係を育成する ↓ 具体的に 自己決定の場を与える ・自分の考えをみんなの前ではっきり表示させる ・一人で考える時間を十分に与える ・より良い学校生活を送るため話し合いを大切にする 自己存在感を与える ・活動の場を与えプラスの評価をする ・どんな発言も取り上げ個人の意見を大切にする ・授業のどの場面でどの生徒を生かせるか考えておく 共感的人間関係を育成する ・一人一人を受け入れてほめる ・常に生徒の人間性を認めていく ・生徒と共に活動し、よさを発見する		

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

学校名	 <h1 style="text-align: center;">北広島市立緑陽中学校</h1>									
所在地	北広島市緑陽町3丁目4番地									
電話	372-2239									
開校年月日	昭和53年 5月27日									
校長名	竹内 剛									
教頭名	水崎 理									
職員数	教諭 14名 養護教諭 1名 事務職員 1名 業務主事 1名 事務補助員 1名 心の教室相談員 1名 スクールカウンセラー 1名									
学級数 生徒数	普通学級 6学級 特別支援学級 2学級 150名									
学校の教育目標	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">ともに鍛えん</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">ともに学ばん</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ともに支えん</td> <td style="text-align: center;">ともに進まん</td> <td></td> </tr> </table>			ともに鍛えん	ともに学ばん		ともに支えん	ともに進まん		
ともに鍛えん	ともに学ばん									
ともに支えん	ともに進まん									
平成27年度 学校経営の基本方針	<p style="text-align: center;">心豊かに 自ら学び たくましく生きる 生徒の育成 ~しなやかに 生き生きと よりアクティブに~</p> <p>1. 社会性を培い 豊かな心や健やかな体を育む 教育の推進</p> <p>《キーワード》</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>人との関係力</td> <td>自治能力</td> </tr> <tr> <td>健康と安全教育</td> <td>達成感・感動体験</td> </tr> <tr> <td>キャリア教育</td> <td>道徳教育 総合的な学習</td> </tr> <tr> <td>生活・学習環境整備</td> <td>特別支援教育</td> </tr> </table> <p>2. 学習意欲を高め、確かな学力をつける 教育の推進</p> <p>学習意欲を高める 学習習慣の定着を図る 「表現力」を身に付ける</p> <p>3. 保護者・地域の期待に応え、信頼される 学校づくりの推進</p> <p>学校評価 小学校との協働・協力・連携・支援強化 保護者と協働・協力・連携・支援強化 地域・他機関・団体等との連携強化 情報モラルの醸成</p>	人との関係力	自治能力	健康と安全教育	達成感・感動体験	キャリア教育	道徳教育 総合的な学習	生活・学習環境整備	特別支援教育	<p>昭和53年 1月 校舎第1期工事完成 4月 緑陽中学校開校、6学級172名 5月 開校式、校歌・校旗・校章披露</p> <p>昭和62年 開校10周年記念式典</p> <p>昭和63年 女子バスケット部 全国大会出場</p> <p>平成元年 16学級 松葉町全域通学区域</p> <p>平成7年 全道中学生新人サッカー優勝</p> <p>平成8年 全国中体連陸上 1500M出場</p> <p>平成9年 開校20周年式典</p> <p>平成10年 「心の教室」開設</p> <p>平成11年 男子バスケットボール部全国大会出場 合唱部 全国合唱コンクール銅賞受賞</p> <p>平成12年 完全給食開始</p> <p>平成13年 HBC子ども音楽コンクール中学校の部 重唱部門 北海道代表</p> <p>平成14年 体育館屋根葺き替え工事</p> <p>平成15年 放送設備入れ替え工事</p> <p>平成16年 文部科学省指定人権教育総合推進地域 事業実践発表会</p> <p>平成17年 全道中学校放送教育研究大会 授業実践発表</p> <p>平成18年 文部科学省指定事業 「キャリア教育実践プロジェクト」</p> <p>平成19年 開校30周年記念式典</p> <p>平成20年 洞爺湖サミット記念外清掃</p> <p>平成21年 グランドフェンス改修工事</p> <p>平成22年 電子黒板設置工事</p> <p>平成23年 グランドフェンス修繕工事</p> <p>平成24年 生徒用PC更新</p> <p>平成25年 北海道ソフトテニス大会 個人戦優勝</p> <p>平成26年 女子バスケットボール部全道大会出場</p>
		人との関係力	自治能力							
健康と安全教育	達成感・感動体験									
キャリア教育	道徳教育 総合的な学習									
生活・学習環境整備	特別支援教育									
<p>校章の由来</p> <p>大自然の緑の中にのびのびと学習する生徒の姿を北広島市を象徴する市の木「もみじ」にあしらって外郭とし、さらに明るさ・新鮮さを常に失わない人間の心の「豊かさ」を願い、市の花「つつじ」を入れ内郭とした。校章の中の円形は、緑陽中学校の名前である太陽をかたどり、烈々と冷めることなく力を合わせて心身の鍛錬に励む生徒の姿を示し、それらの要に「緑中」の文字を配して調和のとれた人格の形成を誓おうとしたものである。</p> <p>研究主題</p> <p style="text-align: center;">心豊かに しなやかに 自ら学ぶ生徒の育成 ~生徒が生き生きとした活動を共有して~</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 合唱活動の推進（集中力と一体感の育成） <ul style="list-style-type: none"> 豊かな表情、言葉を大切にし、表現力を高める取組 リーダーを育て、質の高い集団づくりの取組 優れた合唱技術を身に付け、保護者や地域の方々に感動を与える取組 集会活動の充実（自治能力と社会性の育成） <ul style="list-style-type: none"> 上級生が下級生のモデルとなる取組 「いじめ」撲滅集会など生徒が企画する主体的な取組 「ともにタイム」の充実（広い視野の育成） <ul style="list-style-type: none"> ふるさとを学び、誇りを持つ取組 地域の人材（専門家）との交流 <p>沿革史</p>										

注1. 教諭数には校長・教頭を含む

児童生徒数の推移

児童数(小学校)

(各年5月1日現在)

年度	総数				1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生		
	学級数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成15年	137(14)	1,910	1,790	3,700	320	278	598	266	296	562	349	295	644	328	281	609	325	308	633	322	332	654
平成16年	135(17)	1,899	1,718	3,617	291	264	555	325	279	604	273	295	568	351	294	645	340	271	611	319	315	634
平成17年	138(20)	1,916	1,681	3,597	310	267	577	292	268	560	324	280	604	283	298	581	360	298	658	347	270	617
平成18年	141(21)	1,900	1,728	3,628	301	294	595	319	277	596	296	276	572	330	280	610	291	302	593	363	299	662
平成19年	139(23)	1,845	1,751	3,596	270	296	566	307	300	607	323	279	602	310	284	594	342	285	627	293	307	600
平成20年	140(24)	1,841	1,765	3,606	302	307	609	275	300	575	302	306	608	325	286	611	302	284	586	335	282	617
平成21年	145(27)	1,825	1,751	3,576	305	267	572	308	305	613	279	297	576	307	311	618	327	287	614	299	284	583
平成22年	146(25)	1,845	1,781	3,626	305	302	607	307	268	575	306	307	613	288	302	590	310	312	622	329	290	619
平成23年	147(28)	1,806	1,773	3,579	286	269	555	306	302	608	308	266	574	307	316	623	291	306	597	308	314	622
平成24年	142(28)	1,775	1,710	3,485	252	248	500	285	273	558	314	297	611	315	268	583	319	320	639	290	304	594
平成25年	137(26)	1,723	1,670	3,393	239	254	493	248	252	500	283	273	556	313	302	615	319	268	587	321	321	642
平成26年	133(24)	1,674	1,602	3,276	243	256	499	253	246	499	244	245	489	299	296	595	314	298	612	321	261	582
平成27年	125(21)	1,605	1,593	3,198	234	244	478	262	248	510	251	262	513	257	252	509	287	283	570	314	304	618

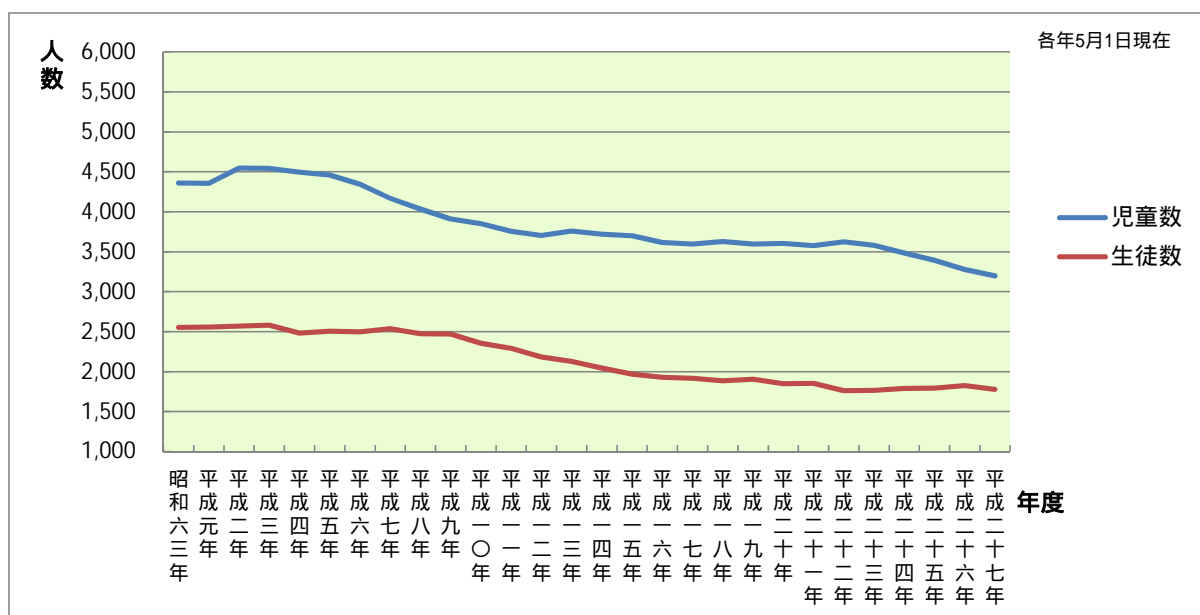
注 () は、特別支援学級数を示す。(内数)

生徒数(中学校)

(各年5月1日現在)

年度	総数				1年生			2年生			3年生		
	学級数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成15年	68(7)	1,010	960	1,970	319	321	633	343	312	655	348	327	675
平成16年	68(9)	967	964	1,931	312	323	645	319	324	643	336	317	653
平成17年	67(9)	957	962	1,919	322	312	652	315	324	639	320	326	646
平成18年	65(9)	983	904	1,887	340	266	631	325	312	637	318	326	644
平成19年	66(9)	1,030	877	1,907	365	295	587	339	268	607	326	314	640
平成20年	66(9)	997	854	1,851	292	298	627	365	289	654	340	267	607
平成21年	66(9)	983	870	1,853	329	269	558	290	303	593	364	298	662
平成22年	70(12)	908	825	1,761	289	279	600	331	267	598	288	307	595
平成23年	71(15)	942	825	1,767	321	279	600	290	276	566	331	270	601
平成24年	72(15)	918	874	1,792	305	303	608	324	285	609	289	286	575
平成25年	71(14)	914	880	1,794	284	289	573	303	306	609	327	285	612
平成26年	74(16)	907	919	1,826	317	318	635	283	294	577	307	307	614
平成27年	75(17)	912	865	1,777	311	253	564	319	316	635	282	296	578

注 () は、特別支援学級数を示す。(内数)



教職員数の推移

(各年5月1日現在)

年度	総数			小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成14年	220	132	352	112	91	203	108	41	149
平成15年	218	141	359	117	100	217	101	41	142
平成16年	223	138	361	119	97	216	104	41	145
平成17年	214	142	356	116	101	217	98	41	139
平成18年	211	143	354	115	102	217	96	41	137
平成19年	207	143	350	112	102	214	95	41	136
平成20年	213	149	362	116	104	220	97	45	142
平成21年	217	162	379	120	108	228	97	54	151
平成22年	224	159	383	128	105	233	96	54	150
平成23年	220	169	389	127	110	237	93	59	152
平成24年	219	167	386	123	108	231	96	59	155
平成25年	220	167	387	118	112	230	102	55	157
平成26年	219	163	382	117	105	222	102	58	160
平成27年	218	152	370	113	96	209	105	56	161

注1.業務主事は除く

児童生徒数・学級数の推計(平成28年度以降・普通学級)

年度	小学校								中学校				
	学級数	児童数							学級数	生徒数			
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計		1年生	2年生	3年生	計
平成28年	98	471	471	498	503	497	556	2,996	57	601	548	615	1,764
平成29年	97	439	471	471	498	503	497	2,879	55	586	601	548	1,735
平成30年	93	413	439	471	471	498	503	2,795	51	478	586	601	1,665
平成31年	89	372	413	439	471	471	498	2,664	48	497	478	586	1,561
平成32年	85	336	372	413	439	471	471	2,502	47	490	497	478	1,465

注1. 小学校1年生及び2年生、中学校1年生の学級数は35人学級で推計

卒業生の進路

(平成27年3月末現在)

中学校名	高等学校			高等専門学校	特別支援学校	専修学校等	就職	その他	計
	全日制	定時制	通信制						
東部中	126	2	1		3				132
西部中	56			2	1				59
大曲中	197	5	1	4	5			1	213
西の里中	73				3			1	77
西の里中 陽香分校									0
広葉中	62	2	1			1			66
緑陽中	54			2	1				57
合計	568	9	3	8	13	1	0	2	604

就学援助

就学援助認定者数推移（認定者数・率）

（単位：人及び％）

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	812(22.7)	813(23.3)	792(23.3)	753(23.0)
中学校	437(24.7)	422(23.5)	427(23.8)	421(23.1)
合計	1,249(23.4)	1,235(23.4)	1,219(23.5)	1,174(23.0)

注1. ()内は、総児童数及び生徒数に占める認定者数の割合。

注2. 認定者数は、各年度3月末現在。

就学援助認定：生活保護支給基準額の1.3倍に勤労控除等を加算した合計額を認定基準とし、前年の収入が基準に満たない場合に認定対象となる。但し、保護者の離婚等により前年の収入が、申請時点の生活と乖離する場合は、現況により判断する。

就学援助費項目別支出額

（単位：円）

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
小学校	学用品費	6,201,698	6,354,712	6,124,525	6,177,744
	通学用品費	1,457,661	1,496,469	1,436,312	1,386,898
	新入学用品費	2,407,900	2,128,300	2,029,800	2,368,100
	校外活動費	1,155,094	1,470,307	1,401,117	1,597,628
	修学旅行費	2,351,125	2,770,823	2,722,766	2,644,560
	体育実技用具費	6,005,055	5,026,380	5,382,592	5,934,617
	給食費	35,129,625	35,704,563	34,300,387	36,665,920
	PTA会費				1,724,600
	医療費	3,042,401	3,225,452	2,466,172	3,249,386
	支出額合計	57,750,559	58,177,006	55,863,671	61,749,453
	歳入(補助金額)	61,000	42,000	69,000	90,000
中学校	学用品費	5,082,354	5,083,348	5,001,368	5,004,839
	通学用品費	629,466	617,173	637,112	607,292
	新入学用品費	2,908,300	2,931,200	3,228,900	2,908,300
	校外活動費	816,548	1,034,387	1,101,494	1,429,530
	修学旅行費	9,366,248	10,044,340	8,768,026	8,913,697
	体育実技用具費	2,100,779	2,116,952	2,563,141	3,779,109
	給食費	22,111,287	23,012,328	23,105,843	23,750,180
	PTA会費・生徒会費				1,924,740
	部活動費				4,180,611
	医療費	682,923	559,071	738,623	653,194
	支出額合計	43,697,905	45,398,799	45,144,507	53,151,492
歳入(補助金額)	494,000	516,000	306,000	307,000	
合計	支出額合計	101,448,464	103,575,805	101,008,178	114,900,945
	歳入(補助金額)	555,000	558,000	375,000	397,000

注1. 支払額は各年度3月末現在。

就学援助費支給内容

(単位:円/1年当たり)

区 分	小学校	中学校
学用品費	実費	実費
通学用品費(2～6年生 定額支給)	2,170	2,170
新入学用品費(1年生 定額支給)	19,900	22,900
校外活動費(日帰り、交通費・見学料実費支給)	実費	実費
校外活動費(宿泊、交通費・見学料実費支給)	実費	実費
修学旅行費	実費	実費
体育実技用具費(小学校1.4年生、中学校1年生)	実費(上限あり)	実費(上限あり)
給食費	実費	実費
PTA会費・生徒会費	実費(上限あり)	実費(上限あり)
部活動費		実費(上限あり)
医療費	実費	実費

注1. 平成16年度までは、学用品費、校外活動費、体育実技用具費は定額支給

体育実技用具は平成17年度から定額支給から、スキー購入利用券を発行し、物品と交換
平成21年度より、実費(上限あり)支給に変更

平成26年度から、PTA会費、生徒会費、部活動費を支給開始

奨 学 金 等

奨学金

(各年3月末現在)

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人 数	86	87	89	90
支給額	5,115,000	5,220,000	5,280,000	5,345,000

注1.奨学金支給額:月額5,000円

高等学校等入学準備金支給状況

(各年3月末現在)

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人 数	121	106	110	82
支給額	2,420,000	2,120,000	2,200,000	1,640,000

注1.高等学校等入学準備金支給額:20,000円

平成14年度まで

- ・要保護・準要保護該当者の子弟等で国、公、私立の高等学校に入学した者 20,000円
- ・市民税が非課税の世帯の子弟等で、私立の高等学校へ入学した者 20,000円
- ・市民税の均等割のみ課税されている世帯の子弟等で、私立の高等学校等へ入学した者 15,000円

学 校 保 健

(児童・生徒の健康診断結果)

尿検査(全児童・生徒対象)

(平成26年度実施結果)

区 分		小 学 校						中 学 校				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
受 検 者 数		492	487	487	548	590	546	3,150	576	467	503	1,546
陽性者数	蛋 白	3	2	0	2	2	4	13	14	12	6	32
	糖	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0

ぎょう虫卵検査(小学校1年生～3年生)

(平成26年度実施結果)

区 分	小 学 校			
	1年	2年	3年	計
受 検 者 数	491	489	484	1,464
陽 性 者 数	0	0	0	0

心臓検診(小学校1・4年生、中学校1年生を対象)

(平成26年度実施結果)

区 分	受検者数	精 密 検 査				
		要精密検査者数	異常なし	異常あり	要観察	未受診者
小学校1年生	497	5	2	2	1	0
小学校4年生	552	8	6	1	0	1
中学校1年生	603	13	8	1	2	2
合 計	1,652	26	16	4	3	3

結核検診(全児童・生徒対象)

(平成26年度実施結果)

区 分	受検者数	結核対策委員会対象者数	精 密 検 査			
			要精検者数	異常なし	異常有	未受診
小学校	3,270	11	1	1	0	0
中学校	1,806	9	0	0	0	0
合 計	5,076	20	1	1	0	0

学校医名簿

(平成27年4月1日現在)

学校名	学校医名 (委嘱年月日)	学校歯科医名 (委嘱年月日)	学校薬剤師名 (委嘱年月日)	耳鼻科医名 (委嘱年月日)	眼科医名 (委嘱年月日)
東部小学校	十川 英明 (H23.4.1)	高津 良二 (H15.4.1)	黒田 岳典 (H21.4.1)	浅井 俊幸 (H12.8.1)	寺井 高子 (H9.4.1)
西部小学校	對馬 伸泰 (H3.4.1)	對馬 眞知子 (H3.4.1)	池谷 務 (H21.4.1)	安達 正明 (H23.4.1)	
大曲小学校	森田 泰行 (H8.4.1)	田畑 太 (H17.4.1)	的場 繁彦 (H23.11.1)	安達 正明 (H23.4.1)	
西の里小学校	湯浅 芳樹 (H26.4.1)	河井 芳樹 (S57.4.1)	幸山 誠 (H23.4.1)	浅井 俊幸 (H12.8.1)	
西の里小学校 陽香分校	石川 秀人 (H23.4.1)	河井 芳樹 (H23.4.1)	辻 正己 (H23.4.1)	浅井 俊幸 (H23.4.1)	
北の台小学校	十川 英明 (S62.4.1)	作田 右気 (H25.4.1)	小野寺 寛生 (H27.4.1)	浅井 俊幸 (H12.8.1)	
大曲東小学校	森田 泰行 (H8.4.1)	木村 朋義 (H12.11.14)	板垣 龍志 (H23.4.1)	安達 正明 (H23.4.1)	
双葉小学校	十川 英明 (H24.4.1)	長沼 聖人 (H24.4.1)	西川 栄治 (H24.4.1)	秦 正人 (H24.4.1)	
緑ヶ丘小学校	丹澤 理恵 (H24.4.1)	松本 貴子 (H24.4.1)	高橋 崇泰 (H24.4.1)	秦 正人 (H24.4.1)	
東部中学校	今井 良成 (H23.4.1)	平山 建 (H18.4.1)	金子 智和子 (H16.4.1)	浅井 俊幸 (H12.8.1)	寺井 高子 (H9.4.1)
西部中学校	對馬 伸泰 (H11.4.1)	西谷 昌泰 (H25.4.1)	的場 勸 (H25.4.1)	安達 正明 (H23.4.1)	
大曲中学校	大森 嘉幸 (H16.4.1)	須貝 誠 (H27.4.1)	熊野 智美 (H19.11.1)	安達 正明 (H23.4.1)	
西の里中学校	湯浅 芳樹 (H26.4.1)	木川 慶一 (H14.4.1)	幸山 誠 (H23.4.1)	浅井 俊幸 (H12.8.1)	
西の里中学校 陽香分校	石川 秀人 (H23.4.1)	河井 芳樹 (H21.4.1)	辻 正己 (H21.4.1)	浅井 俊幸 (H21.4.1)	
広葉中学校	丹澤 理恵 (H20.4.1)	横井 敏一 (H11.4.1)	沼下 雅樹 (H27.4.1)	秦 正人 (H23.4.1)	
緑陽中学校	斉藤 洌 (H23.4.1)	藤川 隆義 (S58.4.1)	高橋 基子 (H25.4.1)	秦 正人 (H23.4.1)	

通学費助成

バス及び自家用車利用通学者数(小学校)

		東部小		西部小		大曲小		西の里小		北の台小		大曲東小		みらい塾		計		
		H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	
助成 申請者数 (保護者数)	バス							133	130					/	/	133	130	
	自家用車	4	3	3	4		1	1		3	3	5	3	/	/	16	14	
	計	4	3	3	4		1	134	130	3	3	5	3	/	/	149	144	
利 用 者 数	1年	バス						33	32					/	/	33	32	
		自家用車		1		1					1	1	1	/	/	1	3	
		計		1		1			33	32		1	1	1	/	/	34	35
	2年	バス							32	37					/	/	32	37
		自家用車	1										1	/	/	1	0	
		計	1						32	37			1	/	/	33	37	
	3年	バス							24	26					/	/	24	26
		自家用車		1					1		1			/	/	2	1	
		計		1					25	26	1			/	/	26	27	
4年	バス							29	15					/	/	29	15	
	自家用車			1						1	1	2	/	/	4	1		
	計			1				29	15	1	1	2	/	/	33	16		
5年	バス							13	13					/	/	13	13	
	自家用車	1		1	1						1	1	/	/	2	2		
	計	1		1	1			13	13		1	1	/	/	15	15		
6年	バス							2	7					/	/	2	7	
	自家用車	2	1	1	2		1			1		2	/	/	6	4		
	計	2	1	1	2		1	2	7	1		2	/	/	8	11		
計	バス	0	0	0	0	0	0	133	130	0	0	0	0	/	/	133	130	
	自家用車	4	3	3	4	0	1	1	0	3	3	5	3	/	/	16	14	
	計	4	3	3	4	0	1	134	130	3	3	5	3	/	/	149	144	

バス及び自家用車利用通学者数(中学校)

		東部中		西部中		大曲中		西の里中		緑陽中		広葉中		みらい塾		計		
		H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	
助成 申請者数 (保護者数)	バス	8	7	1	3			/	/			/	/	/	1	9	11	
	自家用車	5	8	1	3	4	1	/	/	2	1	/	1	/		12	14	
	計	13	15	2	6	4	1	/	/	2	1	/	1	/	1	21	25	
利 用 者 数	1年	バス	3	2		1			/	/			/	/			3	3
		自家用車	2	3	1				/	/	1		/	1	/		4	3
		計	5	5	1	1			/	/	1		/	1	/		7	6
	2年	バス	4	3	1	2			/	/			/	/	/		5	5
		自家用車	3	3		1	1		/	/		1	/	/	/		4	5
		計	7	6	1	3	1		/	/		1	/	/	/		9	10
3年	バス	1	2					/	/			/	/	/		1	2	
	自家用車		2		2	3	1	/	/	1		/	/	/		4	5	
	計	1	4		2	3	1	/	/	1		/	/	/		5	7	
計	バス	8	7	1	3			/	/			/	/	/	1	9	11	
	自家用車	5	8	1	3	4	1	/	/	2	1	/	1	/		12	14	
	計	13	15	2	6	4	1	/	/	2	1	/	1	/	1	21	25	

児童生徒通学費助成制度について

遠距離等のため、公共交通機関を利用して市内の公立小中学校に通学している児童生徒の保護者及び公共交通機関を利用できない地域に居住し、自家用自動車による送迎を常としている児童生徒の保護者に、通学に要する経費の一部を助成する。

バス利用者は定期券の2分の1を助成し、自家用車利用者は通学距離が2km以上3km未満は1,000円(小学校のみ)、3km以上で1,400円を助成する。(自家用自動車の場合は、月内で11日以上送迎を助成対象とする)

なお、通学費助成制度は平成13年11月1日から施行しているが、平成15年5月1日から定期券を購入し、公共交通機関を利用して通学している児童生徒への距離要件を撤廃した。

(自家用自動車利用者については距離要件あり)

特別支援教育

特別支援学級設置状況

〔小学校〕

(各年5月1日現在)

学校名 (学級名)	区分	平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		知的	情緒	肢体	虚弱	計	知的	情緒	肢体	虚弱	計	知的	情緒	肢体	虚弱	計
東部小学校 (かがやき)	学級数	1	2			3	2	1			3	2	1			3
	児童数	7	9			16	9	7			16	9	6			15
西部小学校 (あかげら)	学級数	1	1	1	1	4		1	1	1	3		1			1
	児童数	2	3	2	2	9		4	2	2	8		4			4
大曲小学校 (かしのみ)	学級数	1	1	1		3	1	1	1		3	1	1			2
	児童数	1	5	1		7	4	4	1		9	5	2			7
西の里小学校 (ひまわり)	学級数	1	2	1		4	1	2			3	1	1	1		3
	児童数	4	9	1		14	6	9			15	6	8	1		15
" 陽香分校 (A組)	学級数		1			1		1			1	1				1
	児童数		1			1		1			1	1				1
北の台小学校 (たんぼぼ)	学級数	1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3
	児童数	4	1	1		6	2	3	1		6	1	3	1		5
大曲東小学校 (なかよし)	学級数	1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3
	児童数	2	5	1		8	3	2	1		6	2	1	1		4
双葉小学校 (きらめき)	学級数	1	1	1		3	1	1	1		3	1	1	1		3
	児童数	4	4	1		9	4	4	1		9	4	3	2		9
緑ヶ丘小学校 (なのはな)	学級数	1	1			2	1	1			2	1	1			2
	児童数	3	3			6	3	2			5	2	2			4
計	学級数	8	11	6	1	26	8	10	5	1	24	9	8	4	0	21
	児童数	27	40	7	2	76	31	36	6	2	75	30	29	5	0	64

〔中学校〕

(各年5月1日現在)

学校名 (学級名)	区分	平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		知的	情緒	肢体	難聴	計	知的	情緒	肢体	難聴	計	知的	情緒	肢体	虚弱	計
東部中学校 (いなほ)	学級数	1	1	1			1	2	1		4	1	1	1		3
	生徒数	8	6	1			4	9	2		15	6	8	2		16
西部中学校 (楓)	学級数	1	1				1	1			2	1	1	1	1	4
	生徒数	1	1				2	1			3	3	1	1	1	6
大曲中学校 (大空)	学級数	1	1				1	1			2	1	1			2
	生徒数	4	6				3	8			11	4	7			11
西の里中学校 (ポプラ)	学級数	1	1				1	1			2	1	1			2
	生徒数	3	5				2	6			8	3	4			7
" 陽香分校 (A組)	学級数	1	1				1	1			2	1	1			2
	生徒数	1	3				1	1			2	3	1			4
広葉中学校 (4組・5組)	学級数		1				1	1			2	1	1			2
	生徒数		1				2	2			4	2	4			6
緑陽中学校 (みどり)	学級数	1	1				1	1			2	1	1			2
	生徒数	1	3				1	2			3	1	1			2
計	学級数	6	7	1	0	14	7	8	1	0	16	7	7	2	1	17
	生徒数	18	25	1	0	44	15	29	2	0	46	22	26	3	1	52

通級指導教室設置状況

(各年5月1日現在)

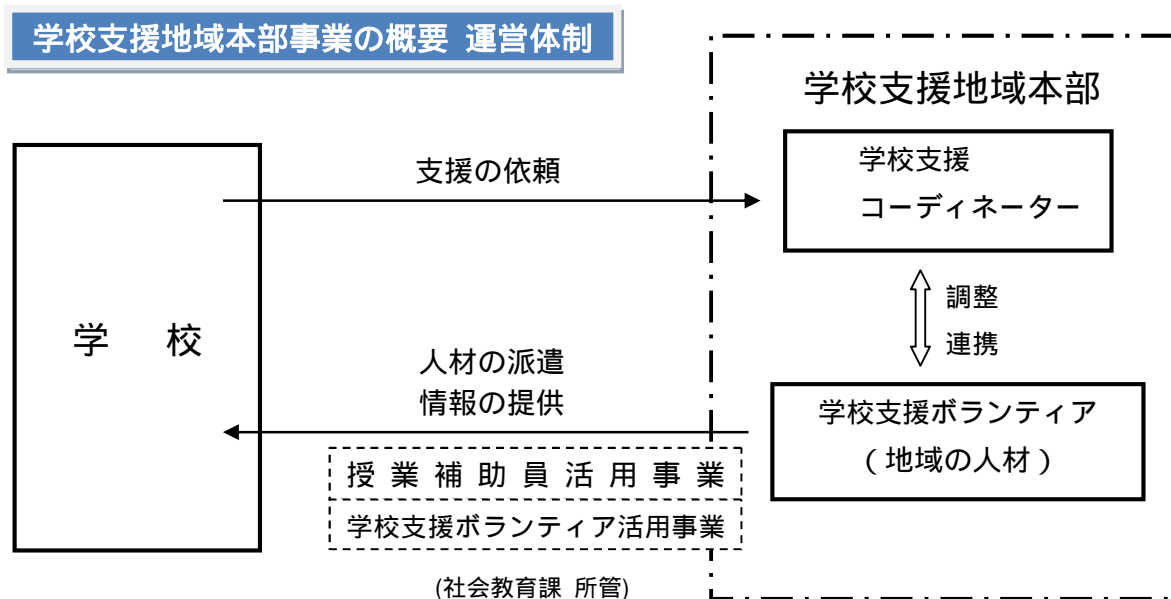
学校名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
北の台小学校 (ADHD等)	在籍児童数	27	29	36
	担当教員数	2	2	2
緑ヶ丘小学校 (言語)	在籍児童数	42	45	44
	担当教員数	4	4	4

注1. 就学指導委員会：心身に障がいのある児童生徒の就学の適正を図るため、北広島市就学指導委員会を設置し、特別支援学級・特別支援学校への就学先等の審議を行う。委員、医師・学識経験者・児童福祉施設の職員・関係教育機関の職員・関係行政機関の職員による14名の委員で構成されている。

学校支援地域本部

学校支援地域本部は、学校支援コーディネーターを配置し、学校の求めに応じて地域の人材やボランティア、有識者などを紹介・派遣し、学校教育を支援する。

学校においては、これまで「授業補助員活用事業」及び「学校支援ボランティア活用事業」などにより、地域の方々の協力を得て教育活動を実施してきたが、平成24年度からは、学校支援地域本部を中心に関係事業を一括して調整できる体制とし、学校にとって利用しやすくより効果的な事業運営が行える体制とした。平成26年度からは、2本部体制を1本部体制とし、より効率的な運営ができる体制とした。



各制度の概要

授業補助員活用事業

- ・ 小学校・中学校における「わかる授業」の展開のため、担任教員のほか授業補助員を配置する。
- ・ 1校当たり年間 150時間を基準とし、残り時間を学級数に応じ傾斜配分する。
- ・ 授業補助員は、補助する授業に関し教員免許状の資格を有している者、見込みの者、同等の資格を有するとみなされる者とする。
- ・ 授業補助員に対し、謝礼として1時間1,100円を支給する。

学校支援ボランティア活用事業

- ・ 学校長が依頼するボランティア活動について、その活動経費の一部を補助するため、原則1校45,000円の交付金を支給する。
- ・ 交付金の対象経費は、ボランティアの旅費（交通費）、消耗品費、原材料費とする。

学 校 給 食

1. 施設の概要 (27年度)

名 称	学校給食センター	広葉中学校給食調理場	西の里中学校給食調理場
所 在 地	朝日町5丁目1番地4	広葉町5丁目1番地	西の里790番地1
電 話 番 号	373-2487	376-8371	374-3132
建 築 面 積	878.05㎡	861.12㎡	1,319.28㎡
給食開始年月	昭和49年1月	平成12年6月	平成14年6月
調 理 能 力	5,000食/日	1,000食/日	1,600食/日
実 施 状 況	小学校 8校 3,273人	中学校 3校 543人	中学校 3校 1,269人

2. 給食費の状況 (27年度)

区 分	給食費(月額)	給食費(年額)	実施回数	一食単価
小学校	4,500円	1年 44,900～48,100円	1年 173～185回	低学年 260円
		2年 47,300～50,100円	2年 182～193回	低学年 260円
		3年 47,800～51,000円	3年 182～194回	中学年 263円
		4年 47,800～51,000円	4年 182～194回	中学年 263円
		5年 47,800～50,500円	5年 180～190回	高学年 266円
		6年 47,000～50,000円	6年 177～188回	高学年 266円
中学校	5,200円	1年 56,300～60,100円	1年 179～191回	全学年 315円
		2年 55,400～59,200円	2年 176～188回	
		3年 52,600～55,100円	3年 167～175回	

3. 学校給食栄養所要量 (文部科学省の基準による)

項目	栄養素	エネルギー	蛋白質	脂 質	カルシウム	鉄	ビ タ ミ ン			
		Kcal	g	g	mg	mg	A μgRE	B1 mg	B2 mg	C mg
小 学 生	低学年	530	16～26	摂取エネルギー 全体の 25～30%	300	2	150	0.3	0.4	20
	中学年	640	18～32		350	3	170	0.4	0.4	20
	高学年	750	22～38		400	4	200	0.5	0.5	25
中 学 生		820	25～40		450	4	300	0.5	0.6	35

4. 給食献立

品 目	回 数	内 容
ごはん	小学校 週3回 月・水・金	白飯、麦ご飯、まぜご飯 ほか
	中学校 週3回 月・火・木	
パン	小学校 週1回 火	コッペパン、黒糖パン、ココアパン、ミルクパン バターロール ほか
	中学校 週1回 水	
めん類	小学校 週1回 木	ラーメン、スパゲティー、うどん ほか
	中学校 週1回 金	
牛 乳	小中学校 週5回	

幼 児 教 育

市内幼稚園・保育所の就園状況

(5月1日現在)

(単位:人)

年 齢 項目 年度	3 歳 児			4 歳 児			5 歳 児		
	幼児数	幼稚園	保育所	幼児数	幼稚園	保育所	幼児数	幼稚園	保育所
22	471	229 (162) (67)	143	486	349 (276) (73)	124	545	382 (318) (64)	144
23	372	235 (173) (62)	137	482	331 (252) (79)	151	490	361 (289) (72)	129
24	471	244 (178) (66)	131	466	320 (249) (71)	147	493	352 (270) (82)	159
25	400	247 (175) (72)	149	440	322 (251) (71)	139	469	336 (269) (67)	144
26	399	259 (180) (79)	130	423	319 (236) (83)	147	457	327 (259) (68)	144
27	411	289 (198) (91)	135	440	322 (228) (94)	142	472	319 (236) (83)	163

幼稚園の()書き上段は市内在住園児数、下段は市外から通園する園児数。

幼稚園就園奨励費制度

年度	対象児通園 幼稚園数	保育料等減免措置対象児数(人)						減 免 額 または交付額 (円)
		区分	生活保護 及び市民 税非課税 世帯	市民税所 得割非課 税世帯	注1 市民税 所得割 77,100円 以下の世帯	注2 市民税 所得割 211,200円 以下の世帯	計	
平成 23 年度	市内8園 市外13園	5歳児	34	9	50	225	318	80,217,500
		4歳児	27	10	37	209	283	
		3歳児	12	5	31	146	194	
		満3歳児	3	0	2	21	26	
		計	76	24	120	601	821	
平成 24 年度	市内8園 市外11園	5歳児	32	8	38	205	283	80,018,800
		4歳児	33	6	45	189	273	
		3歳児	17	4	26	144	191	
		満3歳児	3	1	3	19	26	
		計	85	19	112	557	773	
平成 25 年度	市内8園 市外11園	5歳児	37	10	39	203	289	84,271,300
		4歳児	30	4	52	190	276	
		3歳児	15	7	32	133	187	
		満3歳児	2	0	5	22	29	
		計	84	21	128	548	781	
平成 26 年度	市内8園 市外11園	5歳児	36	7	44	204	291	103,292,500
		4歳児	23	8	46	199	276	
		3歳児	16	4	39	131	190	
		満3歳児	3	2	7	33	45	
		計	78	21	136	567	802	

幼稚園就園奨励費制度：幼稚園教育の振興に資することを目的として、幼稚園に通園する満3歳児～5歳児の保護者に対し、経済的負担の軽減を図るため、入園料及び保育料を減免する。

注 1 平成23年度までは所得割額34,500円以下世帯。平成24年度からは所得割額77,100円以下世帯。

注 2 平成23年度は所得割額183,000円以下世帯。平成24年度からは所得割額211,200円以下世帯。

「北広島市幼児教育連携」アクションプラン

(平成27年5月1日現在)

交流内容	アクションプラン策定以前の取り組み			平成26年度 (報告)	平成27年度 (予定)	平成28年度	平成29年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度				
施策検討等	・北広島市幼児教育の連携に関する懇話会 (課題共有)	・北広島市幼児教育の連携に関する懇話会 (幼稚園、保育園、小学校の参観を含めた課題把握と必要な施策検討)	アクション 保育士対象の研修企画実施 アクション 幼稚園教諭対象の研修企画実施 アクション 幼保小教職員の合同研修会企画実施	・北広島市幼児教育の連携に関する懇話会 (スタート・カリキュラム、アプローチ・カリキュラムを意識した連携へのアクション強化と一般化。保護者の不安解消を目指した支援の方策検討。)	・北広島市幼児教育の連携に関する懇話会 (教職員、保育士の交流のみでなく、保護者の交流の場の設定等について、検討を進める。)	・北広島市幼児教育の連携に関する懇話会 (子ども・子育て関連3法 子ども・子育て支援法 総合子ども園法 関係法律の関係整備法等の関連からの、スムーズな子ども・子育てを行政と一体になって推進するための体制検討なども含めて)	・北広島市幼児教育の連携に関する懇話会 (新庁舎、新体制下の幼保小連携の推進について)
保育園研修			・北広島市保育士研修会「幼保小の連携について」	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会 (保育士対象)	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会 (保育士・幼稚園教諭合同で) 11月7日 幼保小連携研修 (小を参観)	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会 (保育士・幼稚園教諭合同で)	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会 (保育士・幼稚園教諭合同で)
幼稚園研修			・幼稚園協会総会・研修講演「幼保小の確かな連携を」	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会 (幼稚園教諭対象)			
幼保小(中)研修 (学童クラブも含め)			・市教委・広教研共催セミナー「幼保小連携」 (市内小中、保育所、幼稚園職員参加)	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会(幼保小合同) ・学童クラブ関係職員にも参加をよびかける。 保育士の出席に配慮し、夜開催 1月14日 小が保育園2園で参観研修	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会(幼保小・学童クラブ合同で入学後の子どもの様子の交流なども含めて) 夜開催 7~8月 幼保小連携研修 (幼保を参観)	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会(幼保小・学童クラブ合同で入学後の子どもの様子の交流なども含めて) 夜開催	・市教委主催の幼保小の連携に関する研修会(幼保小・学童クラブ合同で入学後の子どもの様子の交流なども含めて) 夜開催
校園種間交流 (教職員間)	・各小学校が主体となった幼保との個別の交流	・各小学校が主体となった幼保との個別の交流	・各小学校が主体となった幼保との個別の交流	・市教委が交流のスペース(研修センター、公共施設等)を用意し、市内一斉に、入学前の交流会を実施する。 (各園訪問前の概要把握) 1月16日 幼保小で交流 (入学前の交流)	・市教委が交流のスペース(研修センター、公共施設等)を用意し、市内一斉に、入学前の交流会を実施する。 (各園訪問前の概要把握) 6月12日 幼保小連携交流会 (入学後の交流) 1月中旬 幼保小連携交流会 (入学前の交流)	・市教委が交流のスペース(研修センター、公共施設等)を用意し、市内一斉に、入学前の交流会を実施する。 (各園訪問前の概要把握)	・市教委が交流のスペース(研修センター、公共施設等)を用意し、市内一斉に、入学前の交流会を実施する。 (各園訪問前の概要把握)
校園種間交流 (児童・生徒主体)	・一部の小、中学校のキャリア教育的交流	・一部の小、中学校のキャリア教育的交流	・一部の小、中学校のキャリア教育的交流	・市内のすべての校区で9年間の義務教育期間にキャリア教育的交流の機会を設ける。	・市内のすべての校区で9年間の義務教育期間にキャリア教育的交流の機会を設ける。	・市内のすべての校区で9年間の義務教育期間にキャリア教育的交流の機会を設ける。	・市内のすべての校区で9年間の義務教育期間にキャリア教育的交流の機会を設ける。
校園種間交流 (幼児主体)	・一部の小学校での幼児との交流	・一部の小学校での幼児との交流	・一部の小学校での幼児との交流	・市内のすべての小学校区で幼児との異学年交流の機会を設ける。	・市内のすべての小学校区で幼児との異学年交流の機会を設ける。	・市内のすべての小学校区で幼児との異学年交流の機会を設ける。	・市内のすべての小学校区で幼児との異学年交流の機会を設ける。
保護者間 交流・研修				・小学校入学前の時期に、1年生に子どもが在籍している先輩保護者が、幼稚園や保育園等の年長組の保護者と交流し、不安を解消する懇話会を開催する。 (小学校の入学説明会等の内容を変えていく)	・幼稚園・保育園のPTAと、小学校のPTAが連携し、保護者同士が交流できる機会を設ける。 11月7日 幼保小連携研修会 (幼保の保護者にも小を参観のご案内)	・PTAの中に、校区を意識した連携体制を作り上げていくことで、幼保小ばかりでなく、小中、小小の連携推進に、家庭・地域が参画する体制を構築する。	・PTAの中に、校区を意識した連携体制を作り上げていくことで、幼保小ばかりでなく、小中、小小の連携推進に、家庭・地域が参画する体制を構築する。
連携の教育課程 構築		・一部の学校でスタート・カリキュラム実施 ・一部保育園・幼稚園でアプローチ・カリキュラム実施	・一部の学校でスタート・カリキュラム実施 ・一部保育園・幼稚園でアプローチ・カリキュラム実施	・各小学校のスタート・カリキュラムの公開 ・保育を小学校教育に繋ぐ年後半のアプローチ・カリキュラムの実施 2月20日 幼保合同の説明会を実施 2月27日 小のみの説明会を実施	・市教委ホームページに、北広島市内の各幼稚園、保育園、小学校間の教育連携の様子を公開するとともに、スタート・カリキュラム、アプローチ・カリキュラムの具体的な様子を紹介していく。	・市教委ホームページに、北広島市内の各幼稚園、保育園、小学校間の教育連携の様子を公開するとともに、スタート・カリキュラム、アプローチ・カリキュラムの具体的な様子を紹介していく。	・市教委ホームページに、北広島市内の各幼稚園、保育園、小学校間の教育連携の様子を公開するとともに、スタート・カリキュラム、アプローチ・カリキュラムの具体的な様子を紹介していく。
(新庁舎建設) 市の機構改革等			新庁舎設計者選定	新庁舎実施設計	新庁舎建設	新庁舎建設	新庁舎完成 (市の機構改革)

北広島市内幼稚園及び高等学校等一覧

(平成27年4月1日現在)

学 校 名 所 在 ・ 電 話	区分	設 立 年 月 日	学 科 別	学級	校長、園長等
広島天使幼稚園 中央4丁目5-2 373-2648	私立	昭和24年4月1日		4	園長 佐々木 圭子
広島大谷幼稚園 広葉町3丁目2 373-4916	私立	昭和49年4月1日		4	園長 高山 隆二
広島わかば幼稚園 若葉町3丁目11 373-5661	私立	昭和50年4月1日		7	園長 室橋 克己
北広島かおり幼稚園 高台町1丁目9-1 372-2476	私立	昭和53年4月1日		3	園長 高橋美千代
広島幼稚園 共栄町1丁目7-1 372-3447	私立	昭和53年4月1日		6	園長 草薙 恵真
大曲大谷幼稚園 大曲581-5 376-2226	私立	昭和58年4月1日		10	園長 吉田 正男
札幌自由の森幼稚園 西の里498-1 375-4361	私立	平成5年4月1日		6	園長 小林 明夏
大地太陽幼稚園 大曲784-106 377-1133	私立	平成9年4月1日		9	園長 坂本 行正
札幌日本大学中学校 虹ヶ丘5丁目7-1 375-5311	私立	平成15年4月1日		9	校長 浅利 剛之
北海道北広島高等学校 共栄305番地1 372-2281	道立	昭和53年4月1日	普通科	24	校長 土岐 均
北海道北広島西高等学校 西の里東3丁目3番地3 375-2771	道立	昭和58年4月1日	普通科	24	校長 後藤 哲
札幌日本大学高等学校 虹ヶ丘5丁目7-1 375-2611	私立	昭和62年4月1日	普通科	31	校長 浅利 剛之
北海道札幌養護学校 共栄分校 共栄274-1 373-6859	道立	昭和54年4月1日	小学部 中学部 高等部 訪問	4 2 2 3	校長 松野 毅彦 (本校・分校兼務) 教頭 船本 昌子
北海道白樺高等養護学校 輪厚621-1 376 - 2353	道立	昭和40年12月1日	産業科 木工科 工業科 家庭科 クリーニング科 生活園芸科 生活窯業科	3 3 3 3 3 3 3	校長 藤根 収
道都大学 中の沢149 372-3111	私立	平成8年4月1日	社会福祉学部 美術学部 経営学部		学長 山本 一彦
北海道歯科技術専門学校 中央3丁目4-1 372-2457	私立	昭和53年4月1日	歯科理工士科		校長 中田 久夫

